

平成30年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	2
III 文化財資料活用事業	6
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	13
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	27
VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業	43
VII 日本民家集落博物館事業	53

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成30年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年月日	会議名称	場所	議案
平成30年6月11日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 平成29年度事業報告及び収支決算について 3. 定時評議員会の招集事項について
平成30年6月29日	定時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成29年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について 3. 評議員の選任について
平成30年6月29日	第2回理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1. 代表理事(理事長)1名選定(案)について
平成30年10月24日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 平成30年度事業進捗について 3. 特定資産の取崩しについて 4. 平成30年度補正予算(案)について 5. 第2回評議員会の招集事項について
平成30年10月26日	第2回(臨時) 評議員会	評議員会の決議の省略 (書面表決)	1. 理事1名選任について 2. 監事1名選任について
平成31年3月20日	第4回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 平成30年度第二次補正予算書(案)について 3. 平成31年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて

2. 役員・評議員の異動状況

年月日	就任	退任	就任
平成30年4月1日	理事		舘野和己(新任)
平成30年4月1日	評議員		白石太一郎(新任)
平成30年6月29日	理事		田邊征夫(再任)
平成30年6月29日	理事		井藤 徹(再任)
平成30年6月29日	理事		今井 渉(再任)
平成30年6月29日	理事		小野昌輝(新任)
平成30年6月29日	理事		黒崎 直(再任)
平成30年6月29日	監事		左近考明(新任)
平成30年6月29日	評議員		芝本哲也(新任)
平成30年6月29日		理事	嶋岡昌利
平成30年6月29日		評議員	岡本克己
平成30年6月29日	代表理事		田邊征夫(再任)
平成30年10月31日		理事	小野昌輝
平成30年10月31日		監事	真川正満
平成30年11月1日	理事		松井宏好(新任)
平成30年11月1日	監事		徳永浩司(新任)
平成31年3月31日		理事	黒崎 直
平成31年3月31日		理事	森屋直樹

II 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府内における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

- ① 国土交通省 近畿地方整備局がPFI法に基づき施行する大阪第6地方合同庁舎（仮称）整備等事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 大林組 大阪本店）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡〔調査〕	42,672,000	1,613	大阪市中央区

- ② 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
船橋遺跡 他〔調査〕	51,379,000	3,030	枚方市
船橋遺跡(2)〔調査〕	13,550,000	2,434	枚方市

- ③ 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
上牧遺跡 他〔調査〕	7,357,000	1,822	高槻市
上牧遺跡(2) 他〔調査・試掘〕	15,067,000	3,181	高槻市

- ④ 西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所が施行する吹田総合車両所近代化事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
吹田市 目俵地区〔試掘〕	1,571,000	14	吹田市

- ⑤ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
井尻遺跡(3)〔調査・整理〕	25,512,000	3,894	高槻市

- ⑥ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大県郡条里遺跡(5)〔調査・整理〕	27,489,000	1,136	柏原市

- ⑦ 大阪広域水道企業団事業管理部 東部水道事業所が施行する藤井寺長吉バイパス送水管整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
川北遺跡(4)〔調査・整理〕	4,482,000	45	藤井寺市

- ⑧ 吹田市が北大阪健康医療都市（健都）1街区で施行する（仮称）健都ライブラリー整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
吹田操車場遺跡〔報告書印刷〕	197,100	0	吹田市

- ⑨ 枚方市上下水道局が施行する中宮浄水場更新事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
禁野本町遺跡〔調査〕	266,234,000	16,473	枚方市

- ⑩ 高槻市成合南土地地区画整理組合が選定した業務代行者の大和ハウス株式会社が施行する北部大阪都市計画事業 成合南土地地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
金龍寺旧境内跡〔調査〕	9,210,000	2,883	高槻市

- ⑪ 茨木松下開発特定目的会社が施行する（仮称）茨木市松下町物流施設建設事業地内の発掘調査（委託者 安西工業株式会社 大阪支店）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
郡遺跡・倍賀遺跡〔整理〕	13,470,000	0	茨木市

- ⑫ NREG東芝不動産 株式会社（当初 株式会社 東芝）が開発し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する（仮称）茨木市東芝町計画事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
太田遺跡・太田廃寺跡・太田城跡〔整理〕	22,096,000	0	茨木市

- ⑬ 近鉄不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・名鉄不動産株式会社 共同企業体（代表企業 近鉄不動産株式会社）が北大阪健康医療都市（健都）8街区で施行する（仮称）摂津市千里丘新町B敷地計画事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
明和池遺跡 〔整理〕	5,025,000	0	摂津市

- ⑭ パナホーム株式会社が北大阪健康医療都市（健都）2街区で施行する高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業地内の発掘調査（委託者 安西工業株式会社）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
吹田操車場遺跡 〔報告書印刷〕	282,000	0	吹田市

- ⑮ 星田北土地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社 大林組、星田駅北土地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社が施行する東部大阪都市計画事業 星田北土地区画整理事業、ならびに星田駅北土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
平池遺跡・星田駅北遺跡 他 〔調査〕	27,859,000	11,086	交野市

- ⑯ 松原市天美東土地区画整理組合が施行する松原市天美東土地区画整理事業地区内 店舗建設事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
池内遺跡 〔調査・整理〕	3,843,000	690	松原市

- ⑰ 松原市新堂4丁目土地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社 大阪支店が施行する松原市新堂4丁目土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
新堂遺跡 〔調査〕	17,158,000	6,503	松原市

- ⑱ 学校法人 塚本学院が計画し、大成建設株式会社 関西支店 大阪芸術大学キャラクター造形学科棟新築工事作業所が施行する（仮称）大阪芸術大学キャラクター造形学科新築工事準備工事事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
東山遺跡 〔調査〕	11,039,000	4,119	河南町

- ⑱ 三井不動産株式会社が計画し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する堺市美原区黒山東事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
黒山遺跡・太井遺跡 他 [確認・試掘]	1,810,000	180	堺市美原区

<平成30年度調査事業 総計>

受託件数	21件	(平成29年度 23件)
委託金額	567,302,100円	(平成29年度 262,135,000円)
調査面積	59,103㎡	(平成29年度 30,836㎡)

(平成26年度 受託件数 30件 調査面積 39,384㎡)

(平成27年度 受託件数 28件 調査面積 89,865㎡)

(平成28年度 受託件数 25件 調査面積 31,317㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

- ① 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する第二東海自動車道横浜名古屋線（新東名高速道路）建設事業地内の発掘調査（平成27年度～） 5名
 [調査] 上粕屋・秋山上遺跡 上粕屋・和田内下遺跡 【伊勢原市】
 横野山王原遺跡 戸川稻荷木遺跡 三廻部東耕地遺跡 菖蒲内開戸遺跡
 【秦野市】
- ② 公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所が実施する京都市内の開発事業地内の発掘調査（平成28年度～） 1名
 [調査] 平安京左京八条四坊一町・御土居跡 【京都市下京区】
- ③ 公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センターが実施する市民会館（仮称）市民文化交流センター建設事業地内の発掘調査（平成29年度～） 2名
 [調査] 和歌山城跡（第34次）

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、平成 30 年度は次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 文化財講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5 月 17 日	「城郭の構造 攻撃と防御のシステム」	一般	近鉄文化サロン	39	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
5 月 20 日	近つ飛鳥博物館館長 承継記念講演会	一般	エルおおさか	381	白石「前方後円墳の出現と終末の意 味するもの」、 館野「木簡に見る古代の大阪」
6 月 21 日	「城郭の構造」	一般	近鉄文化サロン	40	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
7 月 19 日	「古代の墓制 －火葬墓のはじまり－」	一般	近鉄文化サロン	67	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
8 月 16 日	「纏向遺跡と 卑弥呼の宮室」	一般	近鉄文化サロン	106	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
9 月 20 日	「古代の装身具」 「日本海交流と弥生の玉」	一般	近鉄文化サロン	50	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
10 月 18 日	「河内政権の 本拠地を考える」	一般	近鉄文化サロン	97	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
11 月 15 日	「みえてきた弥生時代の 計量技術」	一般	近鉄文化サロン	48	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
12 月 20 日	「謎の大王「継体」の宮と 支持勢力」	一般	近鉄文化サロン	106	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
1 月 17 日	「弥生時代の祭場」	一般	近鉄文化サロン	72	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
2 月 19 日	くずし字解説講座 「くずし字を読む －中近世の文字－」	一般	近鉄文化サロン	20	でかける博物館講座
2 月 21 日	「飛鳥の宮から平城京へ」	一般	近鉄文化サロン	99	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』
3 月 21 日	「古代の男性墓・女性墓 －何故ちがいがわかるのか－」	一般	近鉄文化サロン	70	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活 5』

計 1,195 名

(2) 連携講演。博物館等外部と連携し、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
6 月 17 日	「吹田操車場遺跡・明和池遺跡 の最近の発掘調査成果」	一般	摂津市立コミュニ ティプラザ	市民の会	18
6 月 26 日	「難波宮と難波津」	一般	エルおおさか	エルおおさか歴史セミナー	129
9 月 25 日	「平城京と唐長安城 －平城遷都の背景を考える－」	一般	エルおおさか	エルおおさか歴史セミナー	113
10 月 4 日	低湿地遺跡調査課程「調査事例」	研修生	奈良文化財研究所	文化財担当者専門研修	8

10月5日	「女王卑弥呼と堺（大阪）」	一般	堺市立 女性センター	堺自由の泉大学 「歴史探訪と考古学講座」	28
10月6日	「吹田操車場遺跡でみつかった 古代の貴人の家」	一般	吹田市立博物館	吹田市立博物館 秋季特別展関連講演会	66
11月10日	「岸部地域の 歴史と明和池遺跡」	一般	吹田市立博物館	吹田市立博物館 秋季特別展関連講演会	48
1月12日	「丘のムラ・水辺のムラ」	一般	大阪府立 狭山池博物館	狭山池博物館「河内の初期弥 生集落を探る」講演会	90
1月19日	「郡遺跡・倍賀遺跡 発掘調査成果シンポジウム」	一般	茨木市立男女共生 センター	茨木市教育委員会主催	140
3月26日	「弥生の拠点集落とその周辺」 「河内の弥生ムラ」	一般	大阪府立 弥生文化博物館	平成30年度弥生フェスティ バル連続講演会	137
11月5日～ 12月17日	歴史文化講座連携事業	一般	羽曳野市立 陵南の森公民館		170
平成 30年度	「高分解能古気候学と歴史・考 古学の連携による気候変動に強 い社会システムの探索」	—	大学共同利用機関 法人人間文化研究 機構 総合地球環 境学研究所	研究プロジェクトの一員	—

計 947名

2. 現地説明会・現地公開事業

現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内容	対象者	備考	参加人数
7月28日	枚方市 船橋遺跡現地公開	一般		130
8月4日	高槻市 井尻遺跡現地公開	一般		80
10月27日	高槻市 上牧遺跡現地説明会	一般		408
2月16日	松原市 新堂遺跡現地公開	一般		130
3月23日	大阪市 大坂城跡現地説明会	一般		992

計 1,740名

3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等を通じて学校教育を支援した。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数
7月30日 ～8月3日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高校2年生	井尻遺跡、弥生文化博物館、近つ 飛鳥博物館	3
10月18日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	東京都私立 和光高校2年生	弥生文化博物館、中部調査事務所	22

計 25名

(2) 発掘調査現場等の見学等の受け入れをした。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
11月5日	発掘現場見学	柏原市立 堅下小学校	大県郡条里遺跡	22	6年生
11月6日	発掘現場見学	柏原市立 堅下小学校	大県郡条里遺跡	21	6年生
11月6・8日	発掘現場見学	JACA 研修生	禁野本町遺跡	2	JACA 課題別研修 「博物館とコミュニティ開発」

計 45 名

(3) 児童向けの体験事業を実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月1日	「はにわ貯金箱を作ろう」	一般 (子ども向け)	近鉄百貨店 「まなぼスタジオ」	6
8月16日	夏のこどもチャレンジ 「張り子の風鈴を作ろう」	一般 (子ども向け)	近鉄文化サロン阿倍野	2
8月25日	夏のこどもチャレンジ 「勾玉けしごむをつくろう」	一般 (子ども向け)	近鉄文化サロン阿倍野	5

計 13 名

4. 文化財展示会事業

(1) 博物館等と連携し、適時、スポット展示し公開した。

実施年月日	内 容	参加人数	会 場	備 考
12月6日～ 1月20日	「河内の初期弥生集落を探る」	7,571	大阪府立 狭山池博物館	大阪府教育委員会・ 大阪府立狭山池博物館共催
3月19日～ 3月31日 (～5月19日)	「上牧遺跡の最新調査成果」	4,156 (H30年度)	大阪府立 弥生文化博物館	スポット展示

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（29年度）の編集・刊行

(2) ホームページでの当センターの情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会・現地公開資料等をホームページに掲載公開した。

(3) 「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。平成27年度からは広く小中学生や家族の参加を促すため、夏休み期間から秋季にかけての期間に設定し、平成30年度は7月21日から11月30日に設定された。当センターは、パンフレットの編集・作成を担当した。また、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、泉佐野市立歴史館いずみさのの展覧会情報を掲載した。

6. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成30年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	233冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,054冊
計	1,296冊
累計蔵書	93,040冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。
蔵書データベースは総計93,000レコード。

(2) 文化財情報のデジタル化

報告書に掲載された写真のうち、主にカラー図版の長期保存を図るため、画像データ化し、活用できるようにした。

(3) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

7. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出土品、写真等の貸出、資料調査の対応

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
歴史に憩う橿原市博物館	春季特別展 「信長・秀吉の天下統一と大和十市氏」	大坂城跡：金箔瓦、目貫、小札、鎧金具、短刀
龍谷ミュージアム	春季特別展「お釈迦さんワールド ーブッタになったひとー」	讃良郡条里遺跡：弥生土器
兵庫県立考古博物館	特別展 「装飾大刀と日本刀ー煌めきの刀剣文化」	大坂城跡：目貫、筭、小柄
堺市博物館	企画展「堺に窯がやってきた！ ー古墳時代・やきものの技術革命ー」	大庭寺遺跡、伏尾遺跡、日置荘遺跡：須恵器、土師質 甎、木製当て具、木製タタキ板、ほか
和歌山県立 紀伊風土記の丘	秋季特別展「黒潮の海に糧をもとめて ー古墳時代の海の民とその社会ー」	下田遺跡、湊遺跡、小島北磯遺跡、久宝寺遺跡：製塩土器、製塩土器、製塩土器、土錘、木製アカ取り、船形木製品ほか
高槻市立 今城塚古代歴史館	秋季特別展「藤原鎌足と阿武山古墳」	大坂城跡：須恵器、木製品、木簡ほか
大阪府立 弥生文化博物館	夏季特別展「弥生のマツリを探る ー祈りのイメージと祭場ー」	郡・倍賀遺跡、久宝寺遺跡、八尾南遺跡、新家遺跡、西岩田遺跡、瓜生堂遺跡、向出遺跡、讃良郡条里遺跡、小阪合遺跡、上フジ遺跡、亀井遺跡、志紀遺跡、田井中遺跡、男里遺跡、仏並遺跡、下田遺跡、山賀遺跡、溝咋遺跡、志紀遺跡：土偶、石棒、手焙形土器、弥生土器、銅鐸形土製品、鳥形木製品、小形仿製鏡、土面、銅鐸、剣形木製品、卜骨ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	夏季企画展「百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、 古墳と水のマツリ」	亀井遺跡、八尾南遺跡、志紀遺跡、讃良郡条里遺跡、はざみ山遺跡：弥生土器、土馬、船形木製品、白玉、絵馬、人形、斎串、人面墨書土器ほか

松原市教育委員会	第2回竹内街道・横大路日本遺産認定記念ミニ展示会「聖武天皇がつくった難波宮」	大坂城跡：須恵器、土師器、軒丸瓦、軒平瓦
大阪歴史博物館	特別展「100周年記念 大阪の米騒動と方面委員の誕生」	旧大阪府庁舎跡：銘煉瓦
鳥羽市立海の博物館	特別展「こまったときのタコだのみ ～タコへの信仰と地域振興」	男里遺跡：タコ壺
尼崎市立田能資料館	特別展「腕輪モノがたり」	巨摩遺跡、亀井遺跡：有鉤銅釧、銅釧
大阪府立狭山池博物館	特別展「王者のひつぎ －狭山池の運ばれてきた古墳石棺」	大和川今池遺跡：家形埴輪、円筒埴輪
四條畷市立歴史民俗資料館	第33回特別展 「卑弥呼、ヤマト王権と北河内－弥生時代末から古墳時代前期の集落と墳墓－」	小路遺跡、東倉冶遺跡：土師器甕、土師器器台、ガラス小玉、管玉ほか
滋賀県立安土城考古博物館	秋季特別展 「キミそっくりな古代人がいたよ －原始・古代の人物表現－」	仏並遺跡、亀井遺跡、溝咋遺跡、日置荘遺跡、郡・倍賀遺跡：土面、邪視文土器、分銅形土製品、人物埴輪、人形土製品ほか
大阪商業大学商業史博物館	秋季企画展「はかりの文化展」	亀井遺跡：分銅形石製品
大阪歴史博物館	特別展 「はにわ大行進－長原古墳群長原遺跡－」	大庭寺遺跡：船形土製品
大阪府立近つ飛鳥博物館	秋季特別展 「4世紀のヤマト王権と対外交渉」	佐堂遺跡、久宝寺北遺跡：小形丸底壺、甕、高坏、小形器台、二重口縁壺ほか
吹田市立博物館	秋季特別展 「東洋一の夢の跡－吹田操車場遺跡展－」	吹田操車場遺跡：平瓦、丸瓦、土馬、石鎌、墨書土器、蹄脚硯、縄文土器、須恵器、蛤刃石斧、有舌尖頭器ほか
大阪府立近つ飛鳥博物館	冬季企画展 「歴史発掘おおさか2017～2018 －大阪府発掘調査最新情報」	梶原寺跡、井尻遺跡、吹田操車場遺跡、総持寺遺跡、瓜破北遺跡：磨製石斧、縄文土器、石釧、須恵器、土師器、滑石製勾玉形模造品、手鎌、刀子、鉄鋌、平底壺、鞆羽口、円筒埴輪、ナイフ形石器ほか
大阪府立弥生文化博物館	冬季企画展 「弥生時代の高地性集落とは －大阪における特徴と性質－」	駒ヶ谷遺跡、上フジ遺跡、滑瀬遺跡、成合遺跡、野々井西遺跡、池内遺跡、太秦遺跡、久宝寺遺跡、鬼虎川遺跡、瓜生堂遺跡、植松遺跡、山賀遺跡、美園遺跡、亀井遺跡、大尾遺跡、志紀遺跡、巨摩遺跡、三宅西遺跡：尖頭器、銅鐸形銅製品、石鎌、大型蛤刃石斧、勾玉、銅鐸形土製品、打製石剣、磨製石剣、投弾、柄、鞘、敲き石ほか

等 21 件

計 420 点

② 常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、

③ 写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、国立歴史民俗博物館、兵庫県立考古博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘、宮崎県立西都原考古博物館、滋賀県立安土城考古博物館、大阪商業大学商業史博物館、大阪歴史博物館、堺市博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、高槻市立今城塚古代歴史館、四條畷市立歴史民俗資料館、尼崎市立田能資料館、鳥取市因幡万葉歴史館、出雲弥生の森博物館、高崎市観音塚考古資料館、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、八尾市文化財調査研究会、茨木市教育委員会、大阪文化財研究所、鳥取県埋蔵文化財センター、京都橘大学、(株)新泉社、(株)同成社、(株)東京美術、戎光祥出版、岩波書店、(株)光文書院、山川出版社、吉川弘文館、雄山閣、(株)思文閣出版、朝日新聞出版、NHKエンタープライズ、(株)ニューサイエンス、K・Pクリエイションズ、読売新聞大阪本社、他、テレビ局等

計 56 件 174 点

④ 資料調査対応

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

大阪府立狭山池博物館 1、大阪歴史博物館 1、堺市博物館 1、高槻市立今城塚古代歴史館 2、奈良県立橿原考古学研究所 1、和歌山県立紀伊風土記の丘 1、鳥羽市立海の博物館 1、鹿児島県立埋蔵文化財センター 1、公益財団法人石川県埋蔵文化財センター 1、神戸市教育委員会 1、西宮市教育委員会 1、出雲市文化財課 1、東広島市出土文化財管理センター 1、安城市教育委員会 1、愛媛大学埋蔵文化財調査室 1、島根大学教員 1、新潟大学学生 1、広島大学総合博物館 1、福岡大学学生 1、大阪大学学生 1、京都大学学生 2、立命館大学学生 1、奈良大学学生 2、岡山大学学生 1、広島大学学生 1、福岡大学学生 2、新潟大学学生 1

計 30 件

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・頒布・ミュージアムグッズ頒布

① 図書の出版・頒布

平成 30 年度、下記の図書を出版した。

- 1 第 290 集 宮ノ前遺跡
- 2 第 291 集 吹田操車場遺跡 15
- 3 第 292 集 吹田操車場遺跡 16
- 4 第 293 集 明和池遺跡 6
- 5 第 294 集 川北遺跡 3
- 6 第 295 集 郡遺跡・倍賀遺跡 1
- 7 第 296 集 井尻遺跡 3
- 8 第 297 集 池内遺跡 5
- 9 年報 平成 29 年度
- 10 大阪府教育庁文化財調査事務所年報 22
- 11 弥生文化博物館 夏季特別展「弥生のマツリを探るー祈りのイメージと祭場ー」
- 12 弥生文化博物館 秋季特別展「発見！古代エジプトー7つのひみつと最新エジプト研究ー」
- 13 近つ飛鳥博物館 春季企画展「渡来人と群集墳ー一須賀古墳群を考えるー」
関連リーフレット「一須賀古墳群を考える」
- 14 近つ飛鳥博物館 夏季企画展「百舌鳥・古市古墳群に学ぶー古墳と水のマツリー」
- 15 近つ飛鳥博物館 秋季特別展「4世紀のヤマト王権と対外交渉ー東アジア情勢と古墳の変化ー」

- 16 近つ飛鳥博物館 冬季企画展「歴史発掘おおさか 2017～2018―大阪府発掘調査最新情報―」
- 17 近つ飛鳥博物館館報 22

※10については大阪府教育委員会発行物の増刷である。

② 図書頒布

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託頒布した。

③ 博物館における関連グッズ頒布提供

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの頒布をおこなった。

8. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第24回の平成30年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団が開催法人となり、平成30年11月16日に開催され、当法人職員が出席した。『近世瓦研究の現状と課題』というテーマで研究発表が行われた。

(2) 木簡学会に参加し、枚方市船橋遺跡の調査成果を報告した。12月1・2日 200人

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 特別展企画展（文化財公開展示）事業

(1) 春季企画展「とんぼ100人展―輝く手のひらの華―」

【入館者数：12,682名 226名/日】

ア. 開催概要 ガラス工芸のなかでも、ひときわ繊細な輝きを放つとんぼ玉。本展では、瑞々しい感性と確かな技術に裏打ちされた現代作家たちの作品を一堂に集め展示した。

イ. 開催期間 平成30年4月14日（土）～6月17日（日） 【会期：56日間】

ウ. 講演会

4月21日（土）「副葬されたガラス製品―弥生時代を中心に―」当館学芸員 井上知花 【参加者数：64名】

「古代ガラスの色と模様」 当館学芸員 宮寄奈美加

5月26日（土）「日本古代の玉と数珠（じゅず） とんぼ玉100人展―輝く手のひらの華―によせて」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

【参加者数：60名】

6月9日（土）「古代オリエントのガラスの装身具：とんぼ玉」

古代オリエント博物館研究部長 津村眞輝子

【参加者数：79名】

エ. その他

①とんぼ玉制作実演

4月28日（土）「楽しいバーナーワーク」増井敏雅

【参加者数：63名】

4月29日（日・祝）「レース棒を使った表現方法（五色玉、縞玉等）」吉津尚美

【参加者数：36名】

5月5日（土・祝）「ライン置きで作るとんぼ玉」西川友敬

【参加者数：55名】

5月12日（土）「パーツの使い方」竹内大祐

【参加者数：76名】

②とんぼ玉制作体験

4月15日（日）【参加者数：43名】、5月6日（日）【参加者数：56名】

6月9日（土）【参加者数：49名】、6月17日（日）【参加者数：54名】

③関連ワークショップ「オープン粘土でとんぼ玉を作ってみよう！」

6月9日（土）【参加者数：20名】、6月16日（土）【参加者数：26名】

(2) 夏季特別展「弥生時代のマツリを探る―祈りのイメージと祭場―」

【入館者数：6,675名 134名/日】

ア. 開催概要 弥生人たちの祈り、信仰はどのようなものだったのだろうか。絵画土器、銅鐸、木製の造形物といった出土品から2000年前の祭器や祭場、そして人びとの想いを再現してみた。

イ. 開催期間 平成30年7月14日（土）～9月9日（日）

【会期：46日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 講演会（考古学セミナー）

7月21日（土）「金閼怨の祭祀研究」天理大学文学部教授 桑原久男

【参加者数：175名】

8月4日（土）「絵画から読み解く弥生の祭祀」

【参加者数：155名】

奈良県立橿原考古学研究所企画課長 橋本裕行

8月25日（土）「弥生のマツリと卑弥呼」当館館長 黒崎 直

【参加者数：216名】

9月8日(土)「銅鐸の世界」桜井市纏向学研究センター所長 寺沢 薫 【参加者数:261名】
オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

7月21日(土)、8月4日(土)、25日(土)、9月8日(土) 【参加者数:計150名】
カ. ワークショップ

8月19日(日)「青銅の祭器を鋳造しよう」「銅鐸風鈴を作ろう」 【参加者数:226名】

(3) 秋季特別展「発見! 古代エジプトー7つのひみつと最新エジプト研究ー」

【入館者数:16,801名 237名/日】

ア. 開催概要 本展では、古代オリエント博物館の協力のもと、国内の古代エジプト資料とその研究成果を「古代エジプトのひみつ」として紹介した。また、近年進められている先進の測量機材や周辺科学を用いた分析手法など、新しい研究の成果と見通しについても紹介し、エジプト学の未来を展望した。

イ. 開催期間 平成30年9月24日(月祝)～12月16日(日) 【会期:71日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 講演会(考古学セミナー)

10月13日(土)「エジプト神話のひみつ」古代オリエント博物館 田澤恵子 【参加者数:225名】

11月3日(土祝)「先端技術が探るピラミッドのひみつ」名古屋大学 河江肖剰 【参加者数:306名】

11月17日(土)「エジプト学のみらいー私たちのエジプト研究ー」 【参加者数:202名】

早稲田大学 有村元春・東海大学 鎌田啓輔・名古屋大学 清水麻里奈・近畿大学 岩本尚教

12月8日(土)「古代金属利用のひみつ」古代オリエント博物館 津本英利 【参加者数:182名】

オ. 展示解説 特別展示室で学芸員による展示解説および声優奥井ゆうこによる特別解説を実施した。

10月13日(土)、11月3日(土祝)、4日(日)、10日(土)、16日(金)、17日(土)※、
24日(土)、25日(日)、12月1日(土)、2日(日)、7日(金)、8日(土)、9日(日)、
15日(土)、16日(日) ※特別解説 【参加者数:計866名】

カ. ワークショップ

10月13日(土)「ミイラの製作教室」 【参加者数:39名】

12月8日(土)「あなただけのウシェブティ」 【参加者数:26名】

(4) 冬季企画展「弥生時代の高地性集落とはー大阪における特徴と性質ー」

【入館者数:10,133名 166名/日】

ア. 開催概要 高地性集落とは、稲作文化を基盤とする弥生時代において、低地を離れた丘陵上に形成された特殊な集落をさす。その成立背景には軍事的・防衛的な意味合いが求められているが、はたしてそうなのだろうか。大阪府内の高地性集落遺跡にスポットをあて、その特徴を考え、新たな性質付けを行った。

イ. 開催期間 平成31年1月19日(土)～3月31日(土) 【会期:62日間】

ウ. 印刷物 図録

エ. 講演会(考古学セミナー)

2月9日(土)「高地性集落の悩ましい研究状況ー成立類型から考えるー」 【参加者数:184名】

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

2月23日(土)「和泉市の高地性集落と池上曾根遺跡」 【参加者数：114名】

和泉市教育委員会文化財振興課主事 上田裕人

3月9日(土)「弥生時代における戦いの本質と高地性集落」 【参加者数：185名】

大阪市教育委員会文化財保護課学芸員 藤原 哲

3月30日(土)「高地性集落からみた弥生社会」 【参加者数：238名】

同志社大学歴史資料館教授 若林邦彦

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

2月9日(土)、23日(土)、3月9日(土)、30日(土) 【参加者数：合計186名】

カ. 遺跡ウォーク 3月10日(日)～和泉の高地性集落から池上曾根遺跡を歩く～ 【参加者数：18名】

2. 「市町村等と連携する博物館」事業

(1) 弥生プラザ

弥生時代遺跡の速報展示コーナーにおいて、下記の展示を実施し、関連の講演会を開催した。

「方形周溝墓に供えた土器－和泉市府中遺跡－」平成30年3月1日(木)～10月3日(水)

「池上曾根遺跡出土の弥生土器－府道池上下宮線の調査－」平成30年10月4日(木)～

講演会 4月14日(土)「方形周溝墓に供えた土器－和泉市府中遺跡－」 【参加者数：89名】

講演①「大阪の方形周溝墓とその源流を探る」大阪府教育庁文化財保護課主任専門員 渡邊昌宏

講演②「和泉の土器棺墓」当館総括学芸員 塚本浩司

(2) スポット展示

2階特別展示室前において、「上牧遺跡」に関するスポット展示を実施した。 【入館者数：4,156名】

ア. 開催概要 「古墳出現期における井戸の祭祀－高槻市上牧遺跡の発掘調査成果－」

イ. 開催期間 平成31年3月19日(火)～令和元年5月19日(日) 【今年度会期：12日間】

(3) 広報

和泉市、泉大津市の協力により、広報誌に当館の行事案内等を掲載した。また、和泉市いずみの国観光おもてなし処(和泉府中、和泉中央)において、各催しのチラシ等を配布し、和泉市の観光情報サイト「SATOMATI IZUMI」に当館の催し情報等を掲出する等の広報活動を実施した。

(4) 史跡公園の活用

博物館実習のプログラムに取り入れるなどして、学芸員の解説による史跡公園の見学を実施した。また当公園を会場とした「和泉市商工まつり」「農業まつり」等の催しに、ワークショップブースを出展した。

(5) 他館との連携事業

秋季特別展「発見！古代エジプト－7つのひみつと最新エジプト研究－」を古代オリエント博物館の特別協力を得て開催した。また、泉州紀北ミュージアムネットワーク加盟館と連携し、「夏休みフェスタ！」「関西文化の日」「冬のやよいミュージアム」「弥生フェスティバル！」等の催しにおいて、多彩なワークショップを実施した。

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 弥生博 木曜大学

旧石器時代から縄文時代と奈良時代から近代遺産までに焦点をあて、大学講義形式の講演会を実施した。

テーマ 「クローズアップ、弥生の前／古墳の後」

講師 当館館長 黒崎 直 (◇印)、当館副館長 秋山浩三

前期【夏の講義】

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 6月7日(木) 「島に生きた旧石器人 沖縄の洞穴遺跡と人骨化石」 | 【参加者数：202名】 |
| ◇6月14日(木) 「『旧石器時代』の発見 岩宿遺跡」 | 【参加者数：203名】 |
| 6月21日(木) 「日本の考古学の原点 大森貝塚」 | 【参加者数：200名】 |
| 7月5日(木) 「京都盆地の縄文世界 北白川遺跡群」 | 【参加者数：152名】 |
| ◇7月12日(木) 「石にこめた縄文人の祈り 大湯環状列石」 | 【参加者数：212名】 |
| 7月19日(木) 「国宝土偶『仮面の女神』の復元 中ッ原遺跡」 | 【参加者数：202名】 |

後期【秋の講義】

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 9月6日(木) 「古代祭祀とシルクロードの終着地 沖ノ島」 | 【臨時休館のため中止】 |
| ◇9月13日(木) 「大仏建立の都 紫香楽宮」 | 【参加者数：190名】 |
| 9月20日(木) 「伊勢神宮に仕える皇女 斎宮跡」 | 【参加者数：146名】 |
| 10月4日(木) 「中世最大の貿易都市 博多遺跡群」 | 【参加者数：155名】 |
| ◇10月11日(木) 「天下布武の城 安土城」 | 【参加者数：162名】 |
| 10月18日(木) 「鉄道考古学事始 新橋停車場」 | 【参加者数：204名】 |

【11回参加者数計：2,028名】

(2) やよいミュージアムコンサート

「音楽のきこえる博物館」のコンセプトのもとに、エントランスホールでさまざまなジャンルのコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：稲本 直 (コンサート企画)、田中寛治 (社会教育)、西川光子 (ピアノ)

- | | |
|--|-------------|
| 6月10日(日) 「時空を超えて～260年の音楽の旅～」 | 【参加者数：243名】 |
| 6月24日(日) 「笛吹きからの贈り物」 | 【参加者数：194名】 |
| 7月1日(日) 「オーボエ・サクソ・ピアノの奏でる世界～0からの始まり～」 | 【参加者数：220名】 |
| 7月8日(日) 「フルートとピアノで語る音楽物語『花さか』」 | 【参加者数：140名】 |
| 9月2日(日) 「箏・三絃・尺八による涼風コンサート」 | 【参加者数：215名】 |
| 9月9日(日) 「歌で紡ぐ日本語の美しさ～美しいメロディに乗せて～」 | 【参加者数：181名】 |
| 9月22日(土) トワイライトコンサート「音の遊園地～こころ踊るNight～」 | 【参加者数：88名】 |
| 10月28日(日) 「遥響—HARUKA—～祈り～二胡&シンセサイザー」 | 【参加者数：282名】 |
| 11月4日(日) 「一新紀元～歴史を生み出そう！名曲をアレンジVol.3～」 | 【参加者数：201名】 |
| 11月25日(日) 「ピアノの調べ～水・鐘・光・幻想の世界～」 | 【参加者数：189名】 |
| 12月2日(日) 「2台のピアノのためのコンサート～My Favorite Things～」 | 【参加者数：232名】 |
| 12月16日(日) 「子どもたちとともに クリスマスをVol.3」 | 【参加者数：137名】 |
| 1月6日(日) 「迎春万歳！賑々しく、津軽三味線の熱と慶びを」 | 【参加者数：301名】 |

- 1月20日(日)「Is This The Blues?」 【参加者数：158名】
- 1月27日(日)「1952年ジャズブームと昭和歌謡誕生の関係」 【参加者数：308名】
- 2月17日(日)「アンサンブルを極める！」 【参加者数：283名】
- 2月24日(日)「聴いて！歌って！オカリナアンサンブル」 【参加者数：193名】
- 3月3日(日)「やよい さんがつ ふえのおと♪～フルートカルテットSionと過ごすひなまつり～」 【参加者数：176名】
- 3月10日(日)「フルート・クラリネット・ピアノによるトリオリサイタル
～フランス音楽よりプーランクを中心に～」 【参加者数：158名】
- 【19回参加者数計：3,899名】

(3) ミニギャラリー

エントランスホールで書道作品、写真作品等の展示を行った。

- ① 5月22日(火)～6月3日(日)「清水千真書道展『旅路・TABIJI』」 【入館者数：1,803名】
- ② 10月2日(火)～10月14日(日)「三田崇博写真展『古代エジプト世界遺産』」 【入館者数：2,022名】
- 10月14日(日)トークイベント「世界遺産を旅して」三田崇博 【参加者数：45名】

(4) 第23回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示した。

開催期間：7月28日(土)～8月18日(土) 【入館者数：2,336名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、石橋敏彦(元泉大津市立条南小学校校長)

① 応募期間：5月22日(火)～6月24日(日)

② 応募点数：356点

③ 表彰式：7月28日(土) 金賞「月明かり、大陸より来たる使者」

別府愛理(兵庫県神戸市立雲雀丘中学校3年)

金賞「ひみこのまじない」小谷美月(徳島県上板町立神宅小学校6年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入賞76点

(5) ボランティア活動

館内外のワークショップ、展示室巡視、出前授業、職場体験、資料作成、道具作り、翻訳等の分野で活動を行った。 【活動日数：154日 協力者数：264名】

4月	【活動日数：20日 協力者数：47名】	10月	【活動日数：13日 協力者数：22名】
5月	【活動日数：22日 協力者数：39名】	11月	【活動日数：12日 協力者数：21名】
6月	【活動日数：14日 協力者数：23名】	12月	【活動日数：8日 協力者数：12名】
7月	【活動日数：11日 協力者数：13名】	1月	【活動日数：8日 協力者数：11名】
8月	【活動日数：10日 協力者数：15名】	2月	【活動日数：11日 協力者数：18名】
9月	【活動日数：11日 協力者数：18名】	3月	【活動日数：14日 協力者数：25名】

(6) 子ども一日館長

近隣小学校の児童を一日館長に任命し、任命式、宝べやツアー等の行事を実施した。

3月23日(土) 泉大津市立城東小学校 (任命式、宝べやツアー) 【参加人数：30名】

4. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 大学生博物館実習

実習生等を受け入れ、博物館の実務などについて指導した。

5月13日(日)	近畿大学「博物館資料保存論」	【44名】
5月13日(日)	大阪樟蔭女子大学「博物館経営論」	【31名】
6月9日(土)	桃山学院大学	【7名】
7月15日(日)	関西大学博物館	【54名】
7月24日(火)～7月28日(土)	博物館実習	【12大学21名】

(2) 若き考古学徒、論壇デビュー!

コーディネーター 黒崎 直(当館館長)、秋山浩三(当館副館長)

第1回 1月26日(土) 【参加者数:75名】

「帆立貝式古墳と造出付古墳」大阪市立大学文学部哲学歴史学科4年次 合田古都

「終末期古墳を構成する諸要素—横口式石槨墳を中心に—」

関西大学大学院文学研究科・総合人文学専攻日本史学専修修士課程3年次 鈴木七奈

第2回 3月2日(土) 【参加者数:82名】

「古墳出現期における鉄斧の地域性とその背景」大阪大学文学部人文学科考古学専修4年次 樋口太地

「瓦からみた奈良時代における摂津・河内の官大寺造営」

近畿大学大学院総合文化研究科文化社会学専攻修士課程1年次 矢野昌史

第3回 3月16日(土) 【参加者数:44名】

「紡錘車形滑石製品の展開とその画期」大阪大学文学部人文学科考古学専修4年次 渡邊都季哉

「古代エジプト古王国時代の太陽信仰」

近畿大学大学院総合文化研究科文化・社会学専攻修士課程1年次 岩本尚教

(3) 高校生の講座等

高校生の入門講座・バックヤードツアー等を実施し、学習機会を提供した。

4月18日(水)・5月9日(水)・5月30日(水)・6月27日(水)・9月19日(水)・11月7日(水)		
11月17日(土)・11月21日(水)	大阪府立今宮高等学校「弥生の食復元プロジェクト」	【94名】
5月18日(金)・8月2日(木)	大阪府立今宮高等学校 「歴史探求」	【21名】
7月10日(火)～8月31日(金)	大阪府立泉陽高等学校「夏休みの宿題:博物館見学」	【163名】
8月10日(土)・8月15日(水)	大阪府立泉陽高等学校「バックヤードツアー」	【22名】
8月17日(金)	高校生のための博物館ツアー	【24名】
10月18日(木)	和光高等学校	【22名】

(4) 中学生の職場体験学習

中学生を各校2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

6月21日(木)～22日(金)	高石市立高石中学校	【5名】
11月8日(木)～9日(金)	高石市立取石中学校	【1名】
11月13日(火)～14日(水)	和泉市立郷荘中学校	【3名】
11月15日(木)～16日(金)	和泉市立石尾中学校	【5名】

11月29日(木)～30日(金) 忠岡町立忠岡中学校 【5名】

2月15日(木)～16日(金) 高石市立高南中学校 【3名】

(5) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

下見説明会 4月3日(火)10校 【参加者:31名】 4月4日(水)8校 【参加者:26名】

【90校 90件 入館者数:7,538名】

<堺市>17校、<和泉市>15校、<泉大津市>4校、<高石市>4校、<忠岡町>2校、<岸和田市>3校、<泉南市>2校、<大阪市>22校、<吹田市>1校、<枚方市>2校、<東大阪市>1校、<松原市>3校、<八尾市>2校、<和歌山県和歌山市>5校、<和歌山県海南市>1校、<兵庫県宝塚市>1校、<府立>2校、<私立>3校

(6) 中学校等の団体見学受け入れ

小学校以外に中学校、その他団体を受け入れ、学芸員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数:1,537名】

① 中学校 【3校 入館者数197名】

② その他団体 国府第二保育園・神戸市御影北児童館・堺観光ボランティア協会(はたちの会)・大阪府高齢者大学校・城陽市歴史民俗資料館友の会など 【48団体】

(7) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。【120回 実績:3,196名】

<堺市>10校、<高石市>1校、<泉大津市>4校、<和泉市>2校、<岸和田市>2校、<羽曳野市>4校、<松原市>2校、<大阪市>13校、<能勢町>1校、<豊中市>1校、<摂津市>1校、<吹田市>1校、<枚方市>2校、<守口市>2校、<東大阪市>2校

(8) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【62団体 利用者数:4,878名】

(9) 博学連携セミナー

教員を対象に授業などの学習活動に活用してもらう内容の研修を実施し、意見交換の場を設けて連携を深めた。

8月16日(木) (小中学校教諭対象) 【17名】

8月17日(金) (高校教諭対象) 【14名】

(10) 教員の研修、研究団体の受け入れ

和泉市養護教諭部会、和泉市人権教育研究協議会、和泉市小学校校長会等の団体利用を受け入れた。

5. 「どこでも博物館」事業

(1) サテライトミュージアム

① 和泉市池上曾根弥生情報館 当館所蔵資料の展示 【入館者数:75,111名】

開催期間 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)

- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 当館所蔵資料の展示 【入館者数:10,532名】
 開催期間 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)
 (※9月4日(火)から12月末まで台風21号被害により休館)

(2) 出張展示

- ① 大阪府立中央図書館 『『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展』 【入館者数:32,516名】
 開催期間 平成30年9月19日(水)～10月10日(水)

(3) 学芸員の出張講座

当館学芸員等が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① 元興寺創建千三百年記念企画展関連シンポジウム「仏法元興一方興寺創建とその時代ー」 【参加者数:200名】
 4月22日(日)「飛鳥の“まちづくり”法興寺創建から始まった」 当館館長 黒崎 直
- ② しおんじやま学び場 【参加者数:32名】
 6月2日(土)「八尾を知る③～八尾で世界的大発見!? 亀井遺跡で見つかった“弥生分銅”」
 当館総括学芸員 中尾智行
- ③ 近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活5
 7月19日(木)「古代の墓制ー火葬墓のはじまりー」 当館館長 黒崎 直 【参加者数:67名】
 9月20日(木)「古代の装身具」 当館学芸員 井上知花・宮寄奈美加 【参加者数:50名】
 11月15日(木)「見えてきた弥生時代の計量技術ー畿内の天秤権ー」 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数:48名】
 1月17日(木)「弥生時代の祭場」 当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数:72名】
 3月21日(木祝)「古代の男性墓・女性墓ー何故ちがいがわかるのかー」 【参加者数:70名】
 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ④ 多文化福祉研究会 当館総括学芸員 中尾智行
 6月29日(金)「新しい弥生文化像」 【参加者数:11名】
 10月18日(木)「よみがえる縄文人」 【参加者数:13名】
 11月9日(金)「瀧湖を望む丘のくらしとヒスイ海岸の縄文人」 【参加者数:13名】
- ⑤ エル・おおさか歴史セミナー 当館館長 黒崎 直
 8月24日(金)「藤原京ー本格的都城の誕生ー」 【参加者数:104名】
 10月17日(水)「卑弥呼ー倭国の謎の女王ー」 【参加者数:108名】
- ⑥ 大阪府中央図書館「卑弥呼の時代を描こう展」関連講演会 【参加者数:17名】
 9月23日(日祝)「卑弥呼の時代にみる「河内の土器」生産
 ー『卑弥呼の時代を描こう』を楽しむためにー」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑦ 関西考古学の日2018 記念講演会「いのり かなえ たまえー宗教考古学事始めー」 【参加者数:200名】
 10月14日(日)「弥生時代のシャーマンたち」 当館総括学芸員 塚本浩司
- ⑧ 大阪商業大学商業史博物館秋季企画展連続講座 【参加者数:18名】
 10月20日(土)「弥生分銅について」 当館総括学芸員 中尾智行
- ⑨ 歴史文化講座・大阪府文化財センター連携講座「はびきの古代史博物館」 【参加者数:66名】
 11月5日(月)「卑弥呼は銅鐸を見たか?」 当館館長 黒崎 直

- ⑩ 大阪学院大学 【参加者数:5名】
11月10日(土)「弥生時代のはじまりー縄文社会になにが起こったのかー」当館総括学芸員 塚本浩司
- ⑪ 大阪府高齢者大学校 自然を楽しむ科 古代から学ぶ① 【参加者数:40名】
11月21日(水)「古代の食」当館学芸員 井上知花
- ⑫ リーガロイヤルホテル大阪 リーガクラブ12月開催講座 【参加者数:58名】
12月7日(金)「卑弥呼のまつりと祈りー彼女がもちいた鬼道とは?ー」当館館長 黒崎 直
- ⑬ 第3回郷土学習会 (TRCシティプラザ図書館) 【参加者数:7名】
1月20日(日)「弥生人の食を探るー食料の獲得と生産ー」当館学芸員 井上知花

(4) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ① ふれあいまつり 5月5日(土祝) 【参加者数:81名】
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根弥生学習館
- ② こどもだいがく「弥生時代の生活を学ぼう!!」 5月27日(土) 【参加者数:24名】
内容・連携先 「脱穀体験」「石器体験」「土器・銅鐸・銅鏡さわり体験」 ららぽーと和泉
- ③ 子育て応援フェア 親子でワークショップ 6月3日(日)・8月23日(木) 【参加者数:217名】
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府住宅供給公社
- ④ にぎわいマルシェ 6月24日(日) 【参加者数:28名】
内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 さかい利品の杜
- ⑤ ハスフェスタ 7月27日(金) 【参加者数:29名】
内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 泉南市埋蔵文化財センター
- ⑥ 夏の自由研究大作戦 7月29日(日) 【参加者数:20名】
内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 東山2.4.5.6.7子ども会
- ⑦ 関大キッズミュージアム 8月3日(金) 【参加者数:224名】
内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 関西大学博物館
- ⑧ コトコトステージ 8月8日(水) 【参加者数:11名】
内容・提携先 「卑弥呼の時代の鏡をつくろう」 西宮阪急
- ⑨ 夏のこどもチャレンジ8月10日(金)・11日(土) 【参加者数:8名】
内容・提携先 「勾玉づくり」 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑩ 山の日まつり 8月11日(土) 【参加者数:30名】
内容・提携先 「銅鐸風鈴づくり」 きしわだ自然資料館
- ⑪ あべの天王寺・サマーキャンパス2018 8月25日(土) 【参加者数:5名】
内容・提携先 「勾玉消しゴムをつくろう」 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑫ 平野区歴史講座 古代体験ワークショップと大阪市文化財収蔵庫見学8月26日(日) 【参加者数:44名】
内容・提携先 「卑弥呼の時代の鏡をつくろう」 大阪市コミュニティ協会 平野区支部協議会
- ⑬ 「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展関連イベント 9月23日(日祝)・10月8日(月祝) 【参加者数:105名】
内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府立中央図書館
- ⑭ 和泉市商工まつり 11月10日(土)・11月11日(日) 【参加者数:220名】

- 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 和泉市商工会議所
- ⑮ 風土記まつり 11月11日(日) 【参加者数：140名】
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 和歌山県立紀伊風土記の丘
- ⑯ JA いずみの合併10周年記念農業まつり 11月18日(日) 【参加者数：107名】
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 いずみの農業協同組合
- ⑰ comecome*はにコット 11月18日(日) 【参加者数：150名】
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 高槻市今城塚古墳公園・はにコット実行委員会
- ⑱ 音☆楽市 in 弥生の杜 11月25日(日) 【参加者数：28名】
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 和泉市教育委員会
- ⑲ 弥生時代へタイムスリップ 12月16日(日) 【参加者数：7名】
 内容・提携先 「粘土で勾玉を作ろう！」 TRC 和泉図書館
- ⑳ 土曜れきし館ワークショップ 2月16日(土) 【参加者数：14名】
 内容・提携先 「鏡を鋳造しよう！」 泉佐野市立歴史館いずみさの
- ㉑ ミニ実習 2月24日(日) 【参加者数：37名】
 内容・提携先 「泥面子をつくろう」 きしわだ自然資料館

6. 「体験する博物館」事業

(1) みんないっしょに考古楽(子どもファーストデイ企画)

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。下記の内容と「土器・銅鐸パズル」を併せて実施した。 【参加者数：合計666名】

- 4月22日(土)「弥生の米つき体験」、5月19日(土)「ねらえ！ピッチング古代」、
 6月16日(土)「石器を使ってみよう」、7月21日(土)「銅鐸風鈴をつくろう」、
 8月18日(土)「弥生博の宝べやを探検しよう」、9月15日(土)「弥生の火おこし体験」、
 10月20日(土)「弥生の弓矢体験」、11月17日(土)「弥生博チラシで鍋敷きをつくろう」、
 12月15日(土)「弥生の米つき体験」、1月19日(土)「石器を使ってみよう」、
 2月16日(土)「土器に触れてみよう」、3月16日(土)「勾玉をつくろう」

7. 企業・民間団体との連携事業

(1) 弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)

- 8月18日(土)「器台からみる弥生後期の社会」赤穂市教育委員会学芸員 山中良平 【参加者数：103名】
 10月27日(土)「鉄製武器からみた弥生社会」 【参加者数：98名】
 岡山大学特別研究員 ジョセフ・ライアン
 12月15日(土)「楽浪と弥生文化」立命館大学教授 長友朋子 【参加者数：140名】
 2月2日(土)「持ち込まれた土器・持ち運ばれた土器-弥生時代の交流拠点-」 【参加者数：110名】
 (公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査員 桐井理輝
 【4回参加者数計：451名】

(2) 遺跡見学ツアー

民間旅行会社と提携し、特別展、企画展関連等の遺跡を見学する考古学ツアーを実施した。

①「若狭の史跡と考古の旅」 【参加者数：21名】

4月18日（水）～4月19日（木） 国際交流サービス／同行講師：当館館長 黒崎 直

②「土井ヶ浜遺跡と北部九州史跡と考古の旅」 【参加者数：33名】

2月20日（水）～2月22日（金） 国際交流サービス／同行講師：当館総括学芸員 塚本浩司

(3) 体験学習

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、関係企業、団体、博物館等の協力を得てワークショップイベントを開催した。

① 夏休みフェスタ！ 8月19日（日） 【参加者数：計701名】

②「関西文化の日」ワークショップ 11月17日（土） 【参加者数：計624名】

③ 冬のやよいミュージアム 2月3日（日） 【参加者数：計1,114名】

④ 弥生フェスティバル 3月23日（土）・24日（日） 【参加者数：計2,541名】

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、連続講演会とワークショップイベント等からなる弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市町全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間 平成31年3月21日（木祝）、22日（金）、23日（土）、24日（日）、26日（火）、27日（水） 【入館者数：3,382名】

イ. 連続講演会「弥生の拠点集落とその周辺」

3月21日（木祝）「大和の弥生ムラ」田原本町埋蔵文化財センターセンター長 藤田三郎 【参加者数：107名】

3月22日（金）「摂津の弥生ムラ」高槻市立今城塚古代歴史館特別館長 森田克行 【参加者数：105名】

3月26日（火）「河内の弥生ムラ」大阪府文化財センター調査課長 三好孝一 【参加者数：137名】

3月27日（水）「和泉の弥生ムラ」当館館長 黒崎 直 【参加者数：121名】

ウ. 中学生フレッシュコンサート 3月23日（土）和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校 【84名】

(2) 要覧等

『平成29年度弥生文化博物館要覧』（平成31年3月31日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) ミュージアムカレンダー

館行事を広く周知するため、行事予定をカレンダーにして作成し、関係諸機関に配付した。

(4) 解説シート

常設展示の解説シート（7種）及び常設展示点字解説シート、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(5) 広報活動の活発な展開

新聞広告等

広域広報を目的として、特別展主催者名義使用の新聞社等の紙面に特別展・企画展の広告を掲載した。この他、インターネットを使った広告として、春季企画展に関する情報をヤフーに、「弥生フェスティバル」に関する情報を親子向けお出かけ情報サイトへ、ターゲット広告を掲出した。

特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語／大人用・子ども用）を作成し、配付した。

小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配付した。また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8種類）を用意し、ホームページからダウンロードして利用してもらえるようにした。

(6) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブック、インスタグラムによる情報提供を行った。

館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介する四コマ漫画をホームページに連載し、インターネット上で動画の配信を行った。 【年間アクセス件数：257,792件】

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社、一般利用者等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

9. 研究事業

(1) 大学、教育委員会等研究者と学术交流を行った。 【128名／内海外研究者3名】

(2) 他博物館、大学、研究機関、学会、研究会、企業などと連携した研究活動を行った。

ア. 弘前大学人文社会学部北日本考古学研究センターとの共同研究へ参加した。

「出土米の形体・DNA分析調査」

イ. 文部科学省科学研究費補助金挑戦的研究（萌芽）助成事業

「博物館の新たな在り方を模索するための体験学習・ワークショップ評価の構築」へ参加した。

「博物館活動をシステムとして可視化・評価するワークショップ」を当館で実施した。

10. 資料調査・収集・製作事業

(1) 資料収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。また、国際ソロプチミスト大阪―いずみからの寄附によって、専門図書を購入し、開架図書の充実を図った。

(2) 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【資料5件・13点／写真49件・88点】

11. サービス事業

(1) マーケットリサーチの実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

【意見と対応】

- ・特別展示に関する学芸員の展示解説がわかりやすく、楽しく学ぶことができた。
⇒秋季特別展において、学芸員の展示解説を追加実施した。併せて、音声ガイドの声優による特別解説を実施した。
- ・講演会等において、プロジェクターが投影する資料映像画面を見やすくして欲しい。
⇒ポインターを更新し、画像を拡大表示できるようにした。

(2) 音声ガイドの無料貸出

展示資料の理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる日本語・英語・中国語・韓国語音声ガイド（いずれも常設展示）を用意し、無料で貸し出しを行った。また、秋季特別展において、声優の奥井ゆうこによる特別展音声ガイド「ハルポクラテスの古代エジプトツアー」を制作し、常設展同様、希望者に無料で貸し出しを行った。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体の利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 博物館グッズの頒布、開発

博物館のオリジナル商品を中心に頒布を行った。新デザインのトートバックを制作し、頒布を開始した。

(5) 設備

施設環境の良化及び省資源化等を目的として、下記の改修等を実施した。

- ・台風21号被害による雨漏りを防止するため、第1展示室アール屋根の応急修理及び塗膜防水施工を実施した。
- ・経年劣化により剥がれ落ちていた駐車場白線ライン等の引き直し補修を実施した。
- ・劣化が進行していた企画管理課内の監視モニター（ブラウン管仕様）を液晶モニターに交換した。
- ・第1展示室のハロゲン照明をLED電球に交換した。
- ・常設展示室内の資料映像放映用機器（壁面モニター及びタッチモニター）を更新した。
- ・体験ゾーンの堅穴住居用垂木等を、交換修理した。

12. 研修事業

(1) 学芸研修

- ①学芸員スキルアップ研修「出前プログラムの作り方～誰もが学べる場をめざして～」 1月20日(日)
進化系アーカイブと旅するミュージアム実行委員会・大東市立歴史民俗資料館主催の研修に、学芸課職員が参加し、その資質向上に取り組んだ。研修終了後、館職員に講習内容を周知し、共有を図った。
- ②博物館スキルアップ研修会「動画編集と再生の技法～多言語字幕を動画へ～」 1月31日(木)
泉州・紀北ミュージアムネットワーク主催の研修会を当館で開催し、学芸課職員が参加した。専門的知識を習得するとともに、博物館展示への活用についての意見交換も行った。

(2) 人権研修

人権啓発用ソフト(教材)の視聴によって、職員の人権研修を実施した。 3月12日(火)、14日(木)

(3) 消防訓練研修

消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。 12月26日(水)

13. 入館者数及び入館料一覧表

(平成30年度)

区 分	入館者数(名)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,350	3,760	6,110	441,400	64日間
割合%	15.6	10.0	11.7		
春季企画展	3,128	9,554	12,682	1,066,380	56日間
割合%	20.8	25.6	24.2		
夏季特別展	2,091	4,584	6,675	832,700	46日間
割合%	13.9	12.3	12.7		
秋季特別展	4,744	12,057	16,801	2,052,870	71日間
割合%	31.5	32.3	32.1		
冬季企画展	2,731	7,402	10,133	680,040	62日間
割合%	18.2	19.8	19.3		
合 計	15,044	37,357	52,401	5,073,390	299日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成29年度実績			45,341	3,575,950	305日間
平成28年度実績			55,041	4,713,040	305日間
平成27年度実績			64,545	5,503,100	309日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 特別展企画展（文化財展示公開）事業

(1) 春季企画展「渡来人と群集墳——須賀古墳群を考える——」

【総入館者数 19,172 名・企画展入館者数：6,366 名・展示室 127 名／日】

ア. 開催趣旨 一須賀古墳群は大阪を代表する古墳時代後期の群集墳であるだけでなく、これまでに数多くの発掘調査が行われ、群集墳研究の素材となってきた。一須賀古墳群の調査成果とともに代表的な研究成果をわかりやすく紹介し、古墳時代研究における重要性を伝えた。

イ. 開催期間 平成 30 年 4 月 21 日（土）～6 月 17 日（日） 【会期：50 日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券、リーフレットの作成配布

エ. 講演会・ミニシンポジウム等

・5 月 27 日（日）「群集墳の出現とヤマト王権」和田晴吾（兵庫県立考古博物館館長） 【221 名】

・6 月 10 日（日）「蘇我・物部両氏と南河内の渡来系氏族」加藤謙吉（放送大学非常勤講師）【258 名】

・6 月 3 日（日）ミニシンポジウム『渡来人の古墳を考える』 【191 名】

「古墳以副葬された渡来系文物」金宇大氏（京都大学白眉センター）

「渡来人の葬送儀礼」堀真人氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

討論コメント／玉井功（当館客員学芸員）討論進行／森本徹（当館副館長兼学芸課長）

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【5 回・計 142 名】

実施日：4 月 22 日（日）、4 月 30 日（月・祝）、5 月 13 日（日）、5 月 19 日（土）、6 月 16 日（土）

カ. 現地見学会 特別展にそった館外での遺跡見学会を実施した。

6 月 2 日（土）「大和飛鳥の渡来人を探る—檜前の遺跡と古墳—」 【59 名】

(2) 夏季企画展「百舌鳥・古市古墳群に学ぶ！—古墳と水のマツリ—」

【総入館者数 11,784 名・企画展入館者数：4,960 名・展示室 101 名／日】

ア. 開催趣旨 世界文化遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群では、これまでの発掘調査や研究により古墳時代の王権や社会の様子を考える上での重要な情報が蓄積されている。水のマツリにかかわる資料を取り上げ、王権や周辺の集落でとりおこなわれた儀礼について考えた。

イ. 開催期間 平成 30 年 7 月 14 日（土）～9 月 9 日（日） 【会期：50 日間】

ウ. 図録の作成・発行、展示ポスター・ちらし・招待券、リーフレットの作成・配布

エ. 講演会・解説講座等

・7 月 15 日（日）「河内平野における馬のマツリ」肥田翔子（当館学芸員） 【57 名】

・7 月 22 日（日）「古墳時代の水のマツリと導水施設」穂積裕昌氏（三重県埋蔵文化財センター主査）【128 名】

- ・8月5日(日)「古代史からみた水のまつり」 館野和己(当館館長) 【122名】
 - ・8月26日(日)「古墳時代集落のまつりと階層構造」 廣瀬時習(当館総括学芸員) 【99名】
 - ・9月2日(日)「縄文・弥生時代の水のまつり」 市村慎太郎(当館総括学芸員) 【91名】
 - ・9月9日(日)「埴輪に表現された儀礼」 森本徹(当館副館長兼学芸課長) 【100名】
- オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【4回・計70名】
- 7月21日(土)、8月4日(土)、8月18日(土)、9月1日(土)

(3) 秋季特別展「4世紀のヤマト王権と対外交渉—東アジア情勢と古墳の変化—」

【総入館者数 22,329名・特展入館者数:8,592名・展示室 172名/日】

ア. 開催趣旨 古墳時代を通じて、ヤマト王権は朝鮮半島や中国大陸とさまざまな交渉を行い、ときには緊張関係を乗り越えながら古代国家の形成を進めた。主に古墳時代前期から中期にかけての対外交渉を示す資料を紹介しながら、当時の国際交流の実態について考えた。

イ. 開催期間 平成30年10月6日(土)～12月2日(日) 【会期:50日間】

ウ. 特別展図録の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券、リーフレットの作成・配布

エ. 講演会

- ・10月21日(日)「日本古代史からみた対外交渉」 館野和己(当館館長) 【189名】
- ・11月11日(日)「ヤマト王権の政権争奪と軍事」 田中晋作氏(山口大学教授) 【251名】
- ・11月25日(日)「朝鮮半島からみた4世紀の日朝関係」 田中俊明氏(滋賀県立大学名誉教授) 【247名】
- ・12月2日(日)「ヤマト王権と対外交渉」 森本 徹(当館副館長) 【290名】

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計200名】

10月7日(日)、10月20日(土)、10月28日(日)、11月17日(土)、12月1日(土)

カ. 現地見学会 特別展にそった館外での遺跡見学会を実施した。 【93名】

11月4日(日)「佐紀古墳群と平城宮跡をあるく」

キ. 開会式 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

(4) 冬季企画展「歴史発掘おおさか 2017～2018—大阪府発掘調査最新情報—」

【総入館者数 16,972名・企画展入館者数:5,199名・展示室 104名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府内では多くの発掘調査が実施されている。最新の調査成果から遺跡を身近に感じ、私たちの街、大阪の魅力を再発見する展示会とした。

イ. 開催期間 平成31年1月19日(土)～3月17日(日) 【会期:50日間】

ウ. 企画展図録の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券、リーフレットの作成・配布

エ. 講演会・発掘調査報告会等

- ・2月3日(日)「枚方市船橋遺跡出土木簡を読む」 館野和己(当館館長) 【65名】
- ・2月17日(日) 発掘調査報告会「おおさかを掘る—最新発掘調査の成果—」 【105名】

「北摂弥生集落の絵画土器－茨木市中河原遺跡」高村 勇士 氏（茨木市教育委員会）

「法王道鏡の寺－八尾市由義寺跡」樋口 薫 氏（公益財団法人八尾市文化財調査研究会）

「三好長慶の山城－大東市飯盛城跡」李 聖子 氏（大東市教育委員会）

・3月17日（日）「渡来人の集落と古墳－5世紀を中心に－」森本徹（当館副館長兼学芸課長） 【152名】

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説の実施 【114名】

1月27日（日）、2月2日（土）、2月24日（日）、3月3日（日）、3月16日（土）

（5）スポット展示

・開催期間 平成31年3月1日（金）～4月7日（日）

【会期：33日間、うち平成30年度は27日】

大阪府立近つ飛鳥博物館・滋賀県立安土城考古博物館連携企画

平成30年度でかける博物館 in 大阪府立近つ飛鳥博物館

「近江の渡来人－大津北郊古墳群のミニチュア炊飯具形土器－」 【計4,216名（平成30年度）】

2. 「市町村等と連携する博物館」事業

（1）連携展示事業

各展覧会において、共催、後援の協力を得た。

ア. 春季企画展「渡来人と群集墳－須賀古墳群を考える－」

後援 堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社

イ. 夏季企画展「百舌鳥・古市古墳群に学ぶ！－古墳と水のまつり－」

後援 堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社

ウ. 秋季特別展「4世紀のヤマト王権と対外交渉－東アジア情勢と古墳の変化－」

後援 太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社

エ. 冬季企画展「歴史発掘おおさか2017～2018－大阪府発掘調査最新情報－」

後援 河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社

府内自治体・調査機関から出陳、図録原稿、調査成果報告会への協力を得た。

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【10回 計：51,640名】

- ・3月21日（水）～4月11日（水）「HOMETOWN TONDABAYASHI」
- ・4月28日（土）～5月6日（日）「ふるさと俳画展」
- ・5月8日（火）～5月19日（土）「太子町水彩画クラブ展」
- ・10月2日（火）～10月8日（月）「かなん写真クラブ 写真展」
- ・11月1日（木）～11月30日（金）「いにしえの声—福島清の世界—」
- ・1月8日（火）～1月23日（水）「「民家を描こう」～畑田家住宅～展示会」
- ・2月6日（水）～2月15日（金）「郷土の誇り～古墳のある風景～」
- ・2月18日（月）～3月17日（日）「このこのアート展」
- ・3月28日（木）～4月6日（土）「太子町切り絵サークル春の作品展」

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日（水・祝）、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【395名】

(3) 風土記の丘、博物館を活用したイベントの実施

ア. うめまつりの開催

3月1日（金）～3月3日（日）実施。講演会などを開催。 【期間中総入館者2,429名】

イ. さくらまつりの開催

3月30日（土）～3月31日（日）実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【100名】、「ベンガラ染め」【71名】などを実施。 【2,888名】

(4) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

- ・5月4日（金・祝）【30名】、7月16日（月・祝）【13名】、7月29日（日）【37名】、8月5日（日）【16名】、8月19日（日）【28名】

(5) 風土記の丘古墳探検ツアー

近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

- ・5月5日（土・） 【24名】

(6) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。

【登録 20 名・協力のべ人数 192 名】

4. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小学校校外学習の受け入れ・体験学習

事前に教員の下見を随時実施し、ワークシートなどの解説を行うことにより事前学習の一助とした。また、見学当日には、学芸員によるガイダンスを行うとともに、各種の体験学習を実施した。

【23校 23件 入館者数:1,778名】

<富田林市>向陽台小学校・喜志小学校、<千早赤阪村>赤阪小学校・小吹台小学校、<松原市>松原東小学校、<羽曳野市>羽曳野市立はびきの埴生学園（小学部）、<堺市>野田小学校・黒山小学校・八田荘西小学校・登美丘西小学校・金岡小学校、<岸和田市>山直北小学校、<貝塚市>東山小学校、<四條畷市>四條畷東小学校、<寝屋川市>神田小学校、<守口市>八雲小学校、<枚方市>山田小学校・藤阪小学校、<奈良県五條市>五條小学校、<奈良県香芝市>真美ヶ丘東小学校、<和歌山県海南市>巽小学校、<兵庫県伊丹市>鴻池小学校、<京都府京田辺市>桃園小学校

(2) 高等学校、中学校等の見学受け入れ

【7校 7件 入館者数：1,015名】

支援学校

<府立>西浦支援学校高等学校（高等部）

中学校

<松原市>松原第5中学校、<和歌山県橋本市>紀見北中学校、<私立>上宮太子中学校、四天王寺中学校、常翔学園中学校、田園調布学園中等部

(3) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらうことに努めた。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

ア. 小学校

【54回 実績：3,787名】

<太子町>磯長小学校、<羽曳野市>駒ヶ谷小学校、<富田林市>富田林小学校・向陽台小学校・喜志小学校、<河内長野市>川上小学校・高向小学校、<千早赤阪村>赤坂小学校、<柏原市>柏原小学校、<大阪市>加美北小学校・森ノ宮小学校・関目東小学校・依羅小学校・南百済小学校・柏里小学校・加賀屋小学校・焼野小学校・南港桜小学校・桃陽小学校・成育小学校・南港光小学校・巽南小学校・聖賢小学校・太子橋小学校・西船場小学校・南市岡小学校・今川小学校、

＜堺市＞三宝小学校・津久野小学校・黒山小学校・竹城台小学校・神石小学校、＜岸和田市＞八木北小学校・山直北小学校、＜貝塚市＞二色小学校・葛城小学校、＜熊取町＞北小学校（支援学級）、＜門真市＞東小学校、＜寝屋川市＞神田小学校、＜枚方市＞開成小学校・明倫小学校・伊加賀小学校・樟葉北小学校、＜守口市＞さくら小学校、＜摂津市＞鳥飼東小学校、＜茨木市＞東奈良小学校、＜箕面市＞豊川東小学校・北小学校、＜高槻市＞清水小学校、＜八尾市＞高美南小学校・亀井小学校、＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校、＜奈良県御所市＞秋津小学校

イ. 中学校、高等学校、大学

【5回 実績：225名】

（４）校外学習の案内

校外学習の利用を促すため、小学校の校長会等で案内活動を行った。

（５）学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。また、近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

（６）学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。「近つの楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」

【計6種】

（７）古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

・4月29日（土・祝）府立生野高校、府立大塚高校、府立富田林高校、初芝富田林高等学校、府立河南高校、府立長野高等学校

【6校 436名】

・11月3日（金・祝）府立生野高等学校・府立河南高等学校・府立富田林高等学校・府立長野高等学校・府立藤井寺高等学校・大阪暁光高等学校

【6校 230名】

（８）大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。関西大学総合情報学部、大阪芸術大学の工芸学科、文芸学科、放送学科の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【20件 計611名】

4月6日（金）フレッシュマンキャンプ

大阪芸術大学文芸学科

4月6日（金）フレッシュマンキャンプ

大阪芸術大学映像学科

5月19日（土）歴史文化フィールドワーク

大阪大谷大学歴史文化学科

7月24日（火）博物館実習

奈良大学通信教育部

8月3日（金）「考古学入門」講義・見学・実習

大阪府立今宮高校

8月3日(金)「灯びプロジェクト」博物館見学	大阪府立生野高校
8月4日(土)映像公開、アプリ公開	関西大学総合情報学部
8月8日(火)博物館実習	大谷大学
8月8日(水)～8月12日(日)博物館実習	京都橘大学・近畿大学・大阪大学・大阪教育大学・ 京都造形芸術大学・大阪芸術大学・同志社大学
8月24日(金)～9月4日(火)一須賀F支群の測量調査	大阪大谷大学歴史文化学科
9月27日(木)バックヤード見学	岡山大学考古学研究室
10月4日(木)「里地里山管理学実習」	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
10月7日(日)博物館展示論	近畿大学
10月28日(日)博物館展示論	奈良大学
11月10日(火)博物館実習(見学)	四天王寺大学
12月6日(木)集中セミナー	府立大手前高校
1月17日(木)展示見学	大阪芸術大学ガラス工芸科
2月16日(土)デザイン製作実習	大阪芸術大学デザイン学科
2月17日(日)地歴部 博物館見学と講座聴講	聖光学院高等学校
2月19日(火)映像、アプリ制作打ち合わせ	関西大学総合情報学部

(9) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。 【6件 計26名】

10月30日(火)河南町立中学校、11月8・9日(木・金)喜志中学校、11月8・9日(木・金)太子町立中学校、11月14・15日(水・木)富田林市立第三中学校、11月29・30日(水・木)富田林市立第一中学校、12月12・13日(水・木)河内長野市立千代田中学校

(10) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。 【2件 計21名】

10月30日(火)JICA研修 海外博物館関係者等 平成30年度博物館コース研修
2月5日(火)葛城市社会科教員研修

(11) 地元大学との連携

大阪芸術大学による地域連携、産学連携事業の一環として、デザイン学科によるミュージアムグッズの開発委課題を受け入れたほか、文芸学科、放送学科、工芸学科による実習の場として博物館の利用を促進した。

5. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク（現地見学会）

学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、古墳を中心とした歴史遺産の現状を紹介するとともに、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として定期的を開催した。

4月8日（日）れきしウォーク「寝屋川の古墳をめぐる」	【27名】
6月2日（土）現地見学会「大和飛鳥の渡来人をさぐる」	【59名】
9月16日（日）れきしウォーク「纏向周辺の古墳をめぐる」	【85名】
11月4日（日）現地見学会「佐紀古墳群と平城宮跡をあぐる」	【93名】
12月16日（日）れきしウォーク「豊中桜塚古墳群をめぐる」	【36名】
3月10日（日）れきしウォーク「寺口忍海古墳群をめぐる」	【41名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座（当館学芸員・客員学芸員）

4月21日（土）朝日カルチャー歴史散歩「佐紀古墳群の御陵を間近で見て廻る」	【12名】
5月19日（土）朝日カルチャー歴史散歩「低地の古墳や集落と国指定天然記念物を訪ねる」	【13名】
6月9日（土）緑水苑ウォーク -歴史探訪- 「京都大仏・方広寺を探索する」	【17名】
6月16日（土）朝日カルチャー歴史散歩「乙訓地域の古墳を廻る」	【13名】
7月21日（土）朝日カルチャー歴史散歩「宇治川東岸の古墳や遺跡、太閤堤を廻る」	【8名】
7月26日（木）フィールドミュージアムトーク史遊会「三重県の古墳をめぐる」	【44名】
8月18日（土）朝日カルチャー「カマド塚（横穴式木室墳）を考える」	【6名】
9月8日（土）緑水苑ウォーク -歴史探訪- 「新庄城下と屋敷山古墳・飯豊陵を廻る」	【3名】
9月15日（土）朝日カルチャー歴史散歩「『額田寺伽藍並条里図』に描かれた額田部周辺を歩く」	【12名】
10月13日（土）緑水苑ウォーク -歴史探訪- 「新庄城下と屋敷山古墳・飯豊陵を廻る」	【11名】
10月20日（土）朝日カルチャー歴史散歩「巡礼街道と古墳」	【10名】
10月31日（水）島本町放課後子ども教室推進事業「勾玉づくり」	【77名】
11月17日（土）朝日カルチャー歴史散歩「阿部氏の本貫と周辺の古墳」	【10名】
12月15日（土）朝日カルチャー歴史散歩「河内湖東部に花開いた弥生集落と古墳」	【11名】
1月12日（土）緑水苑ウォーク -歴史探訪- 「河内平野の低湿地に住んだ人々」	【18名】
1月19日（土）朝日カルチャー歴史散歩「蘇我氏・忌部氏の痕跡を歩く（橿原市）」	【10名】
2月16日（土）朝日カルチャー歴史散歩「山背古道と高麗寺跡を巡る（木津川市）」	【10名】
3月9日（土）緑水苑ウォーク -歴史探訪- 「馬見丘陵東南端の古墳群をめぐる」	【16名】
3月16日（土）朝日カルチャー歴史散歩「八尾市所在の国史跡古墳を廻る（八尾市）」	【9名】

②でかける博物館講座「考古学からみる古代の生活5」

- 8月16日(木)「纏向遺跡と卑弥呼の宮室」 【106名】
10月18日(木)「河内政権の本拠地を考える」 【97名】
12月20日(木)「謎の大王「継体」の宮と支持勢力」 【106名】
2月21日(木) 考古学からみる古代の生活「飛鳥の宮から平城京へ」 【99名】

③5月20日(日) 館長承継記念講演会 【381名】

- 講演①「前方後円墳の出現と終末の意味するもの」白石太一郎(当館名誉館長)
講演②「木簡に見る古代の大阪」館野和己(当館館長)

④1月14日(月・祝)でかける博物館講演会「雄略大王と渡来人」 【625名】

- 講演①「考古学からみた王権と渡来人—吉備をからめて—」(岡山理科大学教授)
講演②「ワカタケル大王とその時代」館野和己(当館館長)

(3) 出張ワークショップ

- 7月1日(日) あべのハルカスマなぼスタジオ 「はにわ貯金箱を作ろう」 【6名】
7月22日(日) 堺都市緑化センター「目指せ世界遺産! はにわづくり体験」 【30名】
7月27日(金) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 【95名】
7月28日(土) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 【50名】
7月28日(土) まなリンク協議会「土師氏のお話しと埴輪づくり」 【45名】
8月3日(火第69回) 橿原神宮林間学園「埴輪づくり」 【45名】
8月16日(木) 西宮阪急百貨店【コトコト宝島スペシャル】～勾玉を作ろう 【30名】
9月23日(日) 古代体験会—勾玉作りと古代衣裳体験 【3名】
10月31日(水) 島本町放課後子供教室推進事業「勾玉づくり」 【77名】

(4) 百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録に向けた講演会

- 1月14日(月・祝)
羽曳野市立生活情報センター「LICはびきの」のホールMを会場に「古市古墳群と渡来人」をテーマとして講演会を開催した。 【625名】
・「考古学からみた王権と渡来人—吉備をからめて—」 亀田修一(岡山理科大学教授)
・「ワカタケル大王とその時代」 館野和己(当館館長)

(5) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張展示を行った。歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

3月1日(金)～4月7日(日) 滋賀県立安土城考古博物館

でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館

「河内の渡来人～一須賀古墳群のミニチュア炊飯具形土器～」 【2,969名】

(6) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭などの催しへ積極的に参加した。

- ・9月3日(金)平成30年度太子町青色防犯パトロール隊全体会議 【30名】
- ・10月14日(日)大宝まつり 勾玉作り 【73名】
- ・11月3日～4日(土・日)平成30年「第16回 秋の文化祭典」 【1500名】
- ・11月19日(日)かなんフェスス「ウォークラリー」 【157名】

6. 「体験する博物館」事業

(1) 子どもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。廃材などを有効に活用することで、エコ活動の意識を醸成するとともに、伝統的な玩具などの工作を行った。 【11回・552名】

- 4月21日(土)「手作りびっくり箱」 【39名】
- 5月19日(土)「動くブルドーザー」 【81名】
- 6月16日(土)「おさんぽ カメさん」 【55名】
- 7月21日(土)「みんなで飛ばそう紙トンボ」 【42名】
- 9月15日(土)「パタパタちょうちょ」 【46名】
- 10月20日(土)「優雅なヨット」 【48名】
- 11月17日(土)「わりばしマジックハンド」 【39名】
- 12月15日(土)こどもファーストデイ「どんぐりクリスマス」 【47名】
- 1月19日(土)「ビーこまとくるりんぱ」 【41名】
- 2月16日(土)「にもつをのせて走れ! スーパートラック」 【55名】
- 3月16日(土)「オリジナルこものいれをつくろう!」 【59名】

(2) 夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

- ・8月12日(日) 【303名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

- ・8月18日(日) 【71名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験を行った。

- ・ 5月3日(水・祝) 古墳時代まつり 当館 【85名】
- ・ 5月5日(金・祝) 当館 【48名】
- ・ 11月18日(日) かなんフェス 当館 【70名】

(5) 夏季企画展関連行事 もずふる教室 in 近つ飛鳥博物館

夏季企画展の内容に関連し、堺市博物館をはじめとする百舌鳥・古市古墳群関連諸機関と連携し、古墳アプリ体験！(藤井寺市世界遺産登録推進室)、古墳クイズに挑戦！(関西大学総合情報学部堀研究室)、オリジナル古墳グッズをつくろう！(堺市博物館)、はにわ輪投げ(羽曳野市世界文化遺産推進室)、土器パズル タイムトライアル(本館)、もずふる情報コーナー(本館)、木製ミニチュアキットで「古墳のある街」を作ろう！(社会福祉法人ひまわり園、四十四の会)などの催しを開催した。

- ・ 8月4日(日) 【156名】

7. 企業・民間団体との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。6 (2) ②参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

- ・ 11月7日(水)～9日(金) 国際交流サービス 周防・長門の古墳を訪ねて 【13名】

8. 広報普及事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol.49 9月30日発行 4,000部

博物館だより Vol.50 3月31日発行 4,000部

(2) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(3) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供5回・新聞雑誌広報等掲載回数139回】

(4) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【HP更新 128 回・アクセス数 137,567】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や、近畿圏の博物館との広報連携を通じて、より効果的な広報活動を展開した。

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行し、関係機関等に配付した。

- ・小冊子『一須賀古墳群を考える』 4月21日発行
- ・『百舌鳥・古市古墳群に学ぶ 古墳と水のマツリ』図録 74 7月14日発行
- ・『4世紀のヤマト王権と対外交渉―東アジア情勢と古墳の変化―』図録 75 10月6日発行
- ・『歴史発掘おおさか 2017～2018―大阪府発掘調査最新情報―』図録 76 1月19日発行

9. 研究事業

(1) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館長以下、学芸員の研究報告、博物館活動の紹介、年間事業報告などを掲載する館報を刊行した。

『館報』22 3月31日発行

(2) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動にも努めた。

(3) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者【331名】、海外研究者【43名】

(4) 客員学芸員制度

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員1名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、普及活動の実施、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

(5) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

10. 資料調査・収集・製作・保管事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

(3) 常設展示のリニューアルに向けた準備

大阪府が開催した展示リニューアル検討委員会に出席し、計画への意見を述べた。

11. サービス事業

(1) 近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、展示内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新発掘調査や研究を知る機会として開催した。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。目標をこえる計12回を実施した。 【12回・計508名】

第118回 4月14日（土）「古墳の終わりと火葬の始まり」森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

第119回 5月12日（土）「円筒埴輪入門」廣瀬時習（当館総括学芸員）

第120回 6月9日（土）「古墳時代の漁業」市村慎太郎（当館総括学芸員）

第121回 7月14日（土）「古墳時代の災害と復興」森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

第122回 8月11日（土）「出土品と保存科学」近藤真世（当館学芸員）

第123回 9月8日（土）「古墳時代の実年代を探る」肥田翔子（当館学芸員）

第124回 10月13日（土）「鉄生産と鉄器生産」森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

第125回 11月10日（土）「古墳造営キャンプを考える」市村慎太郎（当館総括学芸員）

第126回 12月8日（土）「畿内の埴輪生産遺跡」肥田翔子（当館学芸員）

第127回 1月12日（土）「甲冑の種類とみかた」廣瀬時習（当館総括学芸員）

第128回 2月9日（土）「天武朝の寺院と瓦」森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

第129回 3月9日（土）「須恵器の形のうつりかわり」市村慎太郎（当館総括学芸員）

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標を超える計12回を実施した。 【12回・計684名】

第109回 4月28日（土）「装身具から考える古墳の被葬者——須賀古墳群の装身具——

廣瀬時習（当館総括学芸員）

第110回 5月26日（土）「古墳時代の馬具と一須賀古墳群」肥田翔子（当館学芸員）

第111回 6月23日（土）「儀礼からみた高松塚古墳の被葬者像」森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

第112回 7月28日（土）「仏教美術と新納コレクション」近藤真世（当館学芸員）

第113回 8月25日（土）「大阪・奈良間の交流ルートを探る」市村慎太郎（当館総括学芸員）

- 第 114 回 9 月 22 日 (土) 「考古学からみた推古朝と天武朝」 森本 徹 (当館副館長兼学芸課長)
- 第 115 回 10 月 27 日 (土) 「土器からみた古墳時代前期の画期」 市村慎太郎 (当館総括学芸員)
- 第 116 回 11 月 24 日 (土) 「玉と石製品からみた古墳時代前期のヤマト王権」 廣瀬時習 (当館総括学芸員)
- 第 117 回 12 月 22 日 (土) 「ヤマト王権と磐井の乱」 森本 徹 (当館副館長兼学芸課長)
- 第 118 回 1 月 26 日 (土) 「組み合わせでみる古墳時代馬具」 肥田翔子 (当館学芸員)
- 第 119 回 2 月 23 日 (土) 「ヤマト王権と武蔵国造の乱」 森本 徹 (当館副館長兼学芸課長)
- 第 120 回 3 月 23 日 (土) 「古墳の儀礼と習俗」 廣瀬時習 (当館総括学芸員)

(2) 音声ガイドの無料貸出

常設展示では日本語 (一般・児童) の他、英語・韓国語・中国語を用意した。特別展企画展においては別途、作成した。

(3) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等により、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。また、意見について、可能なものについては対処を行った。

【意見と対応】

- ・企画展等の展示名称等の外国語対応を求める意見が寄せられた。
⇒夏季企画展について品名および所蔵情報等について英語表記を併記した。
- ・常設展示品の変更や、配置を工夫したら如何か。
⇒展示のリニューアルを求めていくとともに、スポット展示を実施する。

(4) 博物館グッズの頒布

当館にふさわしい書籍や魅力あるグッズの頒布に努めた。

(5) 設備

消防設備不良箇所の改修を行なった。

誤動作を繰り返す正面玄関ならびに風土記の丘の来客カウンターの修繕を行った。

黄泉の塔外部点検口の錠の不具合を改善した。

24 時間系統パッケージエアコン室外機洗浄作業を行った。

調整槽フロートスイッチおよび曝気フロア回路改造工事を行った。

風土記の丘トイレの配線カバーを交換した。

12. 研修事業

(1) 学芸研修

会議や研修に参加し、博物館管理・運営の参考とした。

6 月 20 日 (水) 公開承認施設会議 於：文部科学省

7 月 4 日 (水) 平成 30 年度全国博物館館長会議 於：文部科学省

7月5日（木） 全国歴史民俗系博物館協議会年次集会 於：大阪歴史博物館

11月15日（木）・16日（金） 平成30年度全国風土記の丘協議会総会・研修会

於：山梨県立風土記の丘研修センター

（2）人権研修

人権啓発映像教材を使って、人権研修を実施した。来館者に対するきめ細やかなサービスにもつながる研修とした。 12月27日（木）

（3）消防訓練研修

富田林消防署河南分署に依頼し、備品等を借用し、火災等発生時の対応について訓練・研修を実施した。 12月27日（木）

13. 近つ飛鳥風土記の丘管理事業

（1）日常的管理

来園者に古墳とそれを取りまく豊かな自然環境に直接触れて学んでいただくために、園路およびみどりの広場の草刈りおよび清掃、園内施設の清掃等を実施した。また、台風等による倒木などの撤去や清掃を行った。

（2）禁止行為に係る点検

損壊、損傷等の行為に係る点検をし、異常のないことを確認した。

【風土記の丘利用者数 89,287名】

14. 入館者数及び入館料一覧

(平成30年度)

区分	入 館 者 数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有料	無料	計	利用者数	総入館者数		
常設展	3,188	3,236	6,424	19,330	25,754	779,570	104
割合 (%)	22.4	18.7	20.4	30.0	26.8	16.0	
春季企画展 渡来人と群集墳	3,387	2,979	6,366	12,806	19,172	1,184,310	50
割合 (%)	23.8	17.2	20.2	19.9	20.0	24.2	
夏季企画展 百舌鳥・古市古墳群	2,777	2,183	4,960	6,824	11,784	904,910	50
割合 (%)	19.5	12.6	15.7	10.6	12.3	18.5	
秋季特別展 4世紀のヤマト王権	3,053	5,539	8,592	13,737	22,329	1,410,600	50
割合 (%)	21.4	32.0	27.2	21.3	23.3	28.9	
冬季企画展 歴史発掘おおさか	1,830	3,369	5,199	11,773	16,972	603,280	50
割合 (%)	12.9	19.5	16.5	18.3	17.7	12.4	
合 計	14,235	17,306	31,541	64,470	96,011	4,882,670	304
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成29年度実績	16,004	16,326	32,330	64,714	97,044	6,263,200	304
平成28年度実績	13,998	16,486	30,471	59,551	90,025	4,818,200	307
平成27年度実績	18,290	16,003	34,293	66,725	101,018	6,846,080	309

VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

1. 特別展企画展館蔵品展（文化財展示公開）事業

泉佐野市を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにして常設展示し、その時代の人びとの暮らしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介。必要に応じて展示資料の解説を実施した。特別展示スペースを使用して、4回の展覧会を実施した。

(1) 春季特別展「奥家の足跡—奥家史料寄贈記念展—」 【入館者数：2,547名 36名／日】

ア. 開催趣旨 泉佐野市樫井に在住する武士であった奥家は、17世紀頃より庄屋役を務めるようになったとされ、近代に至るまで樫井において村の重役を務めた。本展示では、奥家の歴史について江戸時代から明治時代まで、時代順に展示をした。古文書や書画、文書箱を中心に、奥家の足跡を辿ることのできる展示となった。

イ. 開催期間 平成30年4月14日（土）～7月8日（日） 【会期：71日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した特別講演会を実施した。

4月28日（土）「奥家の歴史と文化財」 細田慈人（当館学芸員） 【参加者数：52名】

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

4月15日（日）【3名】、4月28日（土）【39名】、5月2日（水）【9名】、5月12日（土）【1名】、7月6日（金）【22名】

オ. 古文書講座 会期中に学芸員による展示史料の古文書講座を開催した

第1回 7月7日（土）「中津川大護摩修行とその行程」（前半） 細田慈人（当館学芸員）
【参加者数：13名】

第2回 7月14日（土）「中津川大護摩修行とその行程」（後半） 細田慈人（当館学芸員）
【参加者数：12名】

(2) 夏季企画展「日本の郷土玩具—込められた人びとの思い—」 【入館者数：2,176名 35名／日】

ア. 開催趣旨 歴史館いずみさのでは、泉佐野の人びとに密着した多数の民俗資料を所蔵している。その中でも日本各地の風土を色濃く反映した郷土玩具を展示した。近年では目にする機会が減った昔懐かしい郷土玩具であるが、大量生産され商品化された玩具たちでは持っていない魅力を紹介した展示となった。

イ. 開催期間 平成30年7月21日（土）～10月7日（日） 【会期：63日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した特別展講演会を実施した。

8月26日（日）「郷土玩具と信仰」 松迫寿（当館学芸員） 【参加者数：8名】

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

8月26日（日） 【参加者数：8名】

(3) 秋季特別展「祈りと願いと信仰と」 入館者数：2,288名 42名／日】

ア. 開催趣旨 古来より泉佐野には雨に対する祈り、漁業・農業の豊漁・豊作を願う祈りなど、独特の信仰が根付いていた。本展示では犬鳴山七宝瀧寺や蟻通神社、泉佐野市民から貴重な資料を借用し、「祈り（祭り）」、「願い（祈祷札・家相図など）」、「信仰（犬鳴山七宝瀧寺・

蟻通神社)」をテーマに、当時の人々の祈り・願い・信仰への思いへと迫った。

イ. 開催期間 平成30年10月20日(土)～12月23日(日・祝) 【会期：54日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を数回実施した。

11月10日(土)「泉州の信仰～人々の祈り～」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：9名】

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

10月20日(土) 【5名】、11月10日(土) 【8名】

オ. 古文書講座 会期中に学芸員による展示史料の古文書講座を開催した

12月23日(日)「展示史料を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：10名】

1月6日(日)「展示史料を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：13名】

(4) 冬季企画展「くらしの道具展」 【入館者数：2,058名 35名/日】

ア. 開催趣旨 「くらしの道具展」では、泉佐野市民から寄贈を受けたちよっと昔の道具の中から、“米作り”と“衣・食・住”を支えた道具を中心に展示をした。現代の著しい道具の変化に伴い、ほんの10数年前に使われていた道具でさえ、目にする機会は減ってしまっている。そんな道具たちをとりあげ、子どもから大人まで、興味を持つ展示となった。

イ. 開催期間 平成30年1月12日(土)～3月24日(日) 【会期：59日間】

2. 講演会事業

(1) 館長講演会

春と秋の年2回、田邊征夫館長による講演会を実施した。

① 5月19日(土)「天皇勅願大寺を考える—大安寺・大官大寺・百濟寺—」 【参加者数：28名】

② 10月20日(土)「遷宮から遷都へ—本格的な都、藤原京の誕生—」 【参加者数：17名】

(2) 考古学講座

考古学をテーマとした講座を開催した。

9月8日(土) 歴史「考古・古代」 西村歩(当館副館長) 【参加者数：26名】

(3) 歴史学講座

歴史学をテーマとした講座を開催した。

①「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史概論」全11回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 5月15日(火) 「陰陽寮の設置」 【参加者数：27名】

第2回 6月13日(水) 「暦を作る」 【参加者数：34名】

第3回 7月11日(水) 「職業「陰陽師」誕生」 【参加者数：32名】

第4回 8月8日(水) 「天才陰陽師現る」 【参加者数：25名】

第5回 10月10日(水) 「上皇と武士と陰陽師」 【参加者数：22名】

第6回 11月14日(水) 「鎌倉陰陽師参上」 【参加者数：30名】

第7回 11月28日(水) 「陰陽師大出世」 【参加者数：28名】

第8回 1月9日(水) 「将軍、陰陽師に大激怒」 【参加者数：23名】

第9回 1月30日(水) 「賀茂氏衰退、安倍氏の台頭」 【参加者数：24名】

第10回 2月13日(水) 「戦乱の世に生きる陰陽師」 【参加者数：26名】

第11回 3月13日(水) 「江戸幕府の宗教政策と陰陽師」 【参加者数：28名】

②「歴史学講座 戦国史編 戦国期の武将と僧たち」全4回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 9月21日(金) 「織田信長と顕如・教如親子」 【参加者数：30名】

第2回 11月16日(金) 「大和の騒乱と筒井順慶」 【参加者数：23名】

第3回 1月18日(金) 「天下人と前田玄以」 【参加者数：9名】

第4回 3月15日(金) 「安国寺恵瓊と外交」 【参加者数：14名】

(4) 古文書講座

古文書講座を応用編と入門編に分けて2つ、開催した。古文書講座応用編『政基公旅引付』を読むでは、『政基公旅引付』を題材にくずし字の読解だけではなく、内容にも触れ、当時の様子についても迫った。古文書講座入門編「くずし字を読んでみよう」では、中・近世の史料を中心に全4回のうち前半2回では白文を読み、後半2回では実際にくずし字を読解していった。

①古文書講座応用編 『政基公旅引付』を読む 全12回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 5月26日(土) 「政基出立」 【参加者数：28名】

第2回 6月23日(土) 「政基、旅路に行く」 【参加者数：24名】

第3回 7月28日(土) 「政基、両守護に憤る」 【参加者数：28名】

第4回 8月18日(土) 「政基、制札を立てる」 【参加者数：27名】

第5回 9月29日(土) 「政基、両守護と問答に及ぶ」 【参加者数：18名】

第6回 10月27日(土) 「政基、日根野村を成敗す」 【参加者数：19名】

第7回 11月24日(土) 「政基、南訴の報を聞く」 【参加者数：18名】

第8回 12月22日(土) 「政基、守護段銭に抵抗する」 【参加者数：19名】

第9回 1月26日(土) 「政基、段銭を徴収する」 【参加者数：15名】

第10回 2月2日(土) 「政基、両守護に対抗する①」 【参加者数：22名】

第11回 3月2日(土) 「政基、両守護に対抗する②」 【参加者数：15名】

第12回 3月23日(土) 「政基、祓が出来ず酒を飲む」 【参加者数：17名】

②「古文書講座入門編 くずし字を読んでみよう」全4回 細田慈人・松迫 寿(当館学芸員)

第1回 10月18日(木) 「白文を読む①」 【参加者数：11名】

第2回 12月20日(木) 「白文を読む②」 【参加者数：15名】

第3回 2月21日(木) 「くずし字を読む①」 【参加者数：18名】

第4回 3月28日(木) 「くずし字を読む②」 【参加者数：14名】

3. 体験学習・学校教育連携事業

(1) 体験学習事業「土曜れきし館ワークショップ」

子ども向けの体験事業を開催した。

4月8日(土)「勾玉をつくろう！」 【参加者数：7名】

4月21日(土)「イースターエッグをつくろう！」 【参加者数：20名】

5月6日(日)「かぶと・こいのぼりをつくろう！」 【参加者数：7名】

6月24日(土)「星に願いを☆七夕飾りをつくろう！」 【参加者数：15名】

7月21日(土)「うちわをつくろう！」	【参加者数：15名】
8月4日(土)「貯金箱をつくろう！①」	【参加者数：11名】
8月12日(日)「貯金箱をつくろう！②」	【参加者数：11名】
8月25日(土)「身近なもので楽器をつくろう！」(博物館実習生企画)	【参加者数：7名】
9月1日(土)「泥面子をつくってあそぼう！」	【参加者数：16名】
9月15日(土)「張り子の起き上がりこぼしをつくろう！」	【参加者数：12名】
10月6日(土)「勾玉をつくろう！」	【参加者数：62名】
10月7日(日)「勾玉をつくろう！」	【参加者数：93名】
10月13日(土)「紙すきでハガキをつくろう！」	【参加者数：11名】
11月17日(土)「クリスマス飾りをつくろう！」	【参加者数：3名】
12月1日(土)「クリスマスリースをつくろう！」	【参加者数：10名】
「勾玉をつくろう！」	【参加者数：6名】
12月15日(土)「お餅をついてみよう！」	【参加者数：20名】
1月19日(土)「新春書初大会！筆で文字を書いてみよう！」	【参加者数：13名】
2月9日(土)「からくり玩具、パタパタをつくろう！」	【参加者数：10名】
2月16日(土)「むかしの鏡をつくってみよう！」(※協力：大阪府立弥生文化博物館)	【参加者数：14名】
3月9日(土)「わらじのストラップをつくろう！」	【参加者数：7名】
3月16日(土)「プラバンでアクセサリーをつくろう！」	【参加者数：15名】

(2) いずみさの歴史ウォーク

歴史街道推進協議会と協力して、郷土の史跡や文化財をめぐる歴史ウォークを行った。

11月4日(日) あのだ町！この町！ウォーク「商業の港町泉佐野を巡る」 細田慈人・松迫寿

【参加者数：11名】

(3) 小中学校の団体受け入れ

各学校との連携により、当館の学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

<泉佐野市>日根野小学校、第二小学校、中央小学校

<海外>中国西安市小学校

【4校：計396名】

(4) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

<泉佐野市>長南小学校、日根野中学校、日根野小学校、長坂小学校、日新小学校、北中小学校、
未広小学校

【7校8回：計674名】

(5) 博学連携事業の推進

博物館実習等の要請を受け入れた。

7月25日(水) 奈良大学通信教育学部

【18名】

8月1日(水) 奈良大学通信教育学部

【14名】

8月21日(火)～8月25日(土) 近畿大学3回生

【2名】

(6) 大学・高等学校、その他団体の受け入れ

小中学校の他、大学、高等学校、団体を受け入れ、当館の学芸員が展示解説を行い、学習を支援した。

①大学・高等学校 和歌山大学、奈良大学 【2校：計64名】

②団体 泉佐野観光ボランティア協会、デイサービスセンター第2弥栄園、泉南市社会福祉協議会、秋田県にかほ市市長市川氏、泉佐野市市長千代松氏、奈良大学、暢楽荘 【11件：計221名】

4. 資料収集・提供事業

(1) 「れきし相談コーナー」の設置

「れきし相談コーナー」を設け、市民からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

(2) 寄贈等された図書の登録

各博物館・各市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を図書台帳に登録し、書庫へ配架した。

(3) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫・別収蔵庫においては燻蒸処理を実施した。 【燻蒸処理実施 5月30日、10月23日】

5. 人材育成事業

(1) ミュージアムスタッフの人材育成研修

人と人とのふれあいを大切にし、心地よい博物館を目指して、来館者に対する応対マナー研修を実施した。

(2) ボランティア活動

広く市民ボランティアを募集し、市民とともに博物館事業を推進した。

6. 普及・広報事業

(1) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、定期的に『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol. 31

(2) 広報活動の活発な展開

館行事を広く周知するため、フェイスブックに行事の告知や実施報告記事を掲載し、泉佐野市の広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載するほか、南海電鉄の情報誌『NATTS』にも情報を提供し、広報活動を充実させた。館行事を広く周知するため、泉佐野市の広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載した。

- ・広報いずみさの4月号 いずみさの昔と今第268回「奥家の足跡」
- ・広報いずみさの5月号 いずみさの昔と今第269回「奥家の文化財」
- ・広報いずみさの6月号 いずみさの昔と今第270回「奥家の明治維新」
- ・広報いずみさの7月号 いずみさの昔と今第271回「日本の郷土玩具」
- ・広報いずみさの8月号 いずみさの昔と今第272回「赤べこと起き上がり小法師」
- ・広報いずみさの9月号 いずみさの昔と今第273回「大人も夢中にさせた郷土玩具たち」
- ・広報いずみさの10月号 いずみさの昔と今第274回「祈りと願いと信仰と～犬鳴山の信仰～」

- ・広報いずみさの11月号 いずみさの昔と今第275回「蟻通神社の信仰」
- ・広報いずみさの12月号 いずみさの昔と今第276回「人々の信仰と共同体」
- ・広報いずみさの1月号 いずみさの昔と今第277回「くらしと道具」
- ・広報いずみさの2月号 いずみさの昔と今第278回「日本の食卓を支えた道具」
- ・広報いずみさの3月号 いずみさの昔と今第279回「昔の明かり」
- ・南海NATTS5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、3・4月号

(3) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際には、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

(4) でかける歴史館

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、来館を促進した。

①近鉄文化サロン

- | | | | |
|----------|--------------------------|-------------|------------|
| 5月17日(木) | 第1回「城郭の構造—攻撃と防御のシステム—」 | 西村歩(当館副館長) | 【参加者数:39名】 |
| 6月21日(木) | 第2回「城郭の構造—攻撃と防御のシステム—」 | 西村歩(当館副館長) | 【参加者数:40名】 |
| 2月19日(火) | 第1回「入門くずし字解説講座—中・近世の文字—」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:19名】 |
| 3月11日(月) | 第2回「入門くずし字解説講座—中・近世の文字—」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:25名】 |
| 3月18日(月) | 第3回「入門くずし字解説講座—中・近世の文字—」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:23名】 |

②きしわだ自然資料館

- | | | | |
|---------------|-----------------|-------|-------------|
| 5月3日(木) | 「ネームプレートをつくろう！」 | 細田、松迫 | 【参加者数:25名】 |
| 8月11日(土・祝) | 「紙すき体験」 | 細田、松迫 | 【参加者数:145名】 |
| 平成31年3月31日(日) | 「パタパタをつくろう！」 | 松迫、辻川 | 【参加者数:14名】 |

③奥家住宅現地見学会

- | | | | |
|---------|-------------|-------------|------------|
| 7月5日(木) | 「奥家住宅現地見学会」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:20名】 |
|---------|-------------|-------------|------------|

④長滝長生会

- | | | | |
|----------|----------------|-------------|------------|
| 7月21日(土) | 「長滝周辺の文化財について」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:96名】 |
|----------|----------------|-------------|------------|

⑤泉南市埋蔵文化財センター

- | | | | |
|----------|----------------|----------|------------|
| 7月27日(金) | ハスフェスタ「トントン相撲」 | 細田、松迫、辻川 | 【参加者数:31名】 |
|----------|----------------|----------|------------|

⑥近鉄文化サロン まなぼスタジオ

- | | | | |
|----------|----------------|------|-----------|
| 8月19日(日) | 「張り子の風鈴をつくろう！」 | 松迫、乾 | 【参加者数:2名】 |
|----------|----------------|------|-----------|

⑦泉南市民歴史倶楽部

- | | | | |
|----------|----------------------------|-------------|------------|
| 8月29日(水) | 「泉州地域の祭祀・祈祷について—文献史料を中心に—」 | 細田慈人(当館学芸員) | 【参加者数:49名】 |
|----------|----------------------------|-------------|------------|

3月9日(土) 「城郭鑑賞の基礎知識」 西村歩(当館副館長)

⑧まちの活性課

9月8日(土) 歴史・文化「考古・古代・民俗芸能」 講師：西村・辻川 【参加者数：26名】

10月8日(月・祝) 歴史・文化「中世・近現代」 講師：細田 【参加者数：23名】

⑨生涯学習課 【参加者数：27名】

10月5日(金) 日根野西上長生会 「泉佐野の文化財」 細田慈人(当館学芸員)

⑩観光ボランティアガイド養成講座

10月28日(日) 「泉佐野市の歴史的観光資源」 細田慈人(当館学芸員)

⑪泉佐野観光ボランティア協会

2月3日(日) 「修験の成立と犬鳴山」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：30名】

⑫南泉州観光ボランティア連絡協議会

2月23日(土) 「熊野詣と熊野信仰」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：92名】

(5) 市民連携活動 市民が参加する歴史館(歴史館ギャラリー)

市民の創作活動を発表する場として、エントランスホールを歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として実施した。

①「犬鳴義犬伝説の義犬を作ろう作品展」 【入館者数：880名 68名/日】

ア. 開催趣旨 地元にある素材を使って特産品を作るという目的のもと、泉佐野市工芸・アートクラフト連盟との共催にて開催する「犬鳴山義犬伝説の義犬を作ろう作品展」へ応募された市民の作品を展示した。4月8日(日)には泉の森ホール屋外会場で行われた「泉の森さくらフェスタ2018」とタイアップし、好きな作品の投票やアンケートも実施した。

イ. 開催期間 平成30年3月25日(日)～4月8日(日) 【会期：13日間】

②「世界文化遺産を大阪へ」 【入館者数：729名 32名/日】

ア. 開催趣旨 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携し、大阪大学レゴ部製作の巨大古墳を模したモニュメントを展示するとともに世界遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群についてのパネル展示を開催した。

イ. 開催期間 平成31年2月1日(金)～2月28日(木) 【会期：23日間】

(6) その他情報提供

歴史街道推進協議会のメールマガジン「DO!楽」にも情報を提供し、広報活動を充実した。また、泉州・紀北ミュージアムネットワークへの加入を継続し、情報発信した。

・メールマガジン「DO!楽」8・9月号、10月号、11月号

・泉州・紀北ミュージアムネットワークMネットかわら版 2018秋、2018冬

(7) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、リーフレットを催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(8) 常設展リーフレットの配布

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレットを配布した。

(9) 小学生用のワークシート

小学生が日根荘を学習するワークシート「歴史館チャレンジ」を学年別に配布した。

(10) 解説シート

常設展示の解説シート（3種）等を用意した。

(11) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会でアンケート用紙を配付し、来館者の要望や、展示・講演会内容の意見などの把握に努めた。

(12) マスコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、情報を提供した。

(13) 取材対応

新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元放送局の取材に応じ、情報を発信した。

- ・J:COM りんくう 4月15日（日） 春季特別展「奥家の足跡—奥家資料寄贈記念展—」取材
- ・J:COM りんくう 5月6日（日） WS「かぶと・こいのぼりをつくろう！」取材
- ・さのテレビ 7月18日（水） 「泉佐野・歴史への旅」取材
- ・さのテレビ 8月16日（木） 「泉佐野・歴史への旅」取材
- ・J:COM りんくう 8月22日（水） 夏季企画展「日本の郷土玩具—込められた人びとの思い—」取材
- ・J:COM りんくう 10月21日（日） 市制施行70周年記念秋季特別展「祈りと願いと信仰と」取材
- ・さのテレビ 12月13日（木） 「泉佐野・歴史への旅」取材
- ・J:COM りんくう 2月6日（水） 市制施行70周年記念冬季企画展「くらしの道具展」取材

(14) インターネットホームページ

【フェイスブック更新：36回】

ホームページおよびフェイスブックによる展覧会、ワークショップ等行事の情報発信を行った。

7. エントランスホールの運営

(1) さわれる民具コーナー

昔の民具に触れ、体験できるようにした。

(2) 資料コーナー

日根荘及び歴史に関する図書を自由に閲覧できる場を設けた。また、子どもに親しんでもらうよう折り紙と塗り絵を設置した。

(3) 日根荘コーナー

日根荘模型を展示し、日根荘を紹介した。日根荘を紹介するビデオも上映した。

8. 資料貸出等

当館所蔵の資料（実物・復元・写真等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ日根荘に関する情報を発信した。

【資料4件・23点／写真4件・86点、アルバム1件・3点】

9. 来館者の受入・対応

来館者への案内をし、開館時間中の館内及び展示室内の見回り点検と清掃を実施した。

10. 施設の利用許可対応

研修室の利用許可の対応を行った。

4月20日(金)	泉佐野市教育委員会	泉佐野市人権教育研究会	【利用者数：30名】
5月22日(火)	泉佐野市教育委員会	泉佐野市人権教育研究会	【利用者数：30名】
5月29日(火)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座①	【利用者数：50名】
5月31日(木)	泉佐野市教育委員会	支援教育コーディネーター連絡会	【利用者数：20名】
6月22日(金)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座①	【利用者数：50名】
6月28日(木)	泉佐野市教育委員会	校園長会人権教育研修	【利用者数：18名】
6月29日(金)	泉佐野市教育委員会	校園長会人権教育研修	【利用者数：21名】
8月30日(木)	泉佐野市教育委員会	泉南ブロックコーディネーター連絡会議	【利用者数：60名】
9月19日(水)	平成30年度 第4回不登校対策サポート委員会		【利用者数：25名】
9月20日(木)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座	【利用者数：30名】
10月17日(水)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座	【利用者数：40名】
10月23日(火)	泉佐野市教育委員会	佐人研推進委員会	【利用者数：30名】
11月1日(木)	泉佐野市教育委員会	2年目・10年経験者研修(不登校問題)	【利用者数：22名】
12月5日(水)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座	【利用者数：50名】
1月24日(木)	泉佐野市教育委員会	プログラミング教育研修	【利用者数：25名】
2月8日(金)	泉佐野市教育委員会	佐人研推進委員会	【利用者数：30名】
2月15日(金)	泉佐野市教育委員会	支援教育研修③	【利用者数：50名】
2月28日(木)	泉佐野市教育委員会	「個別の指導計画」作成研修会	【利用者数：50名】
3月1日(金)	泉佐野市教育委員会	「授業・保育づくり研究グループ」全大会Ⅲ	【利用者数：45名】
3月8日(金)	泉佐野市教育委員会	少人数担当者連絡会(教員研修)	【利用者数：19名】
3月14日(木)	泉佐野市教育委員会	生徒会担当者会	【利用者数：7名】

11. 書籍の販売協力

歴史館発行の常設展・特別展の図録等の書籍の販売について泉佐野市に協力した。

12. 利用者数一覧表

(平成30年度)

区 分	入館者数 (名)	館外 自主事業 利用者 (名)	講師依頼 による 利用者 (名)	合 計	備 考
常設展	1,712	92	14	1,818	45 日間
割合(%)	16	7	6	15	
春季特別展	2,547	360	25	2,932	71 日間
割合(%)	24	28	12	24	
夏季企画展	2,176	198	178	2,552	63 日間
割合(%)	20	15	82	21	
秋季特別展	2,288	11	0	2,299	54 日間
割合(%)	21	1	0	18	
冬季企画展	2,058	638	0	2,696	59 日間
割合(%)	19	49	0	22	
合 計	10,781	1,299	217	12,297	292 日間
割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	

平成28年度実績	9,070	119	852	10,041	293 日間
平成29年度実績	7,399	934	212	10,734	294 日間

Ⅶ 日本民家集落博物館事業

1. 展示公開事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

国登録有形文化財 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地藏

また、「セミナーハウス」を設置している。

- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

国登録有形文化財 = 北河内の茶室

未指定 = 剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）

- ③ 「むかしのくらし展示」

稲作に関する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現している。

石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

- ① 「同友会写真クラブ展」 場所：日向椎葉の民家

ア. 開催概要 同友会写真クラブ会員による民家等の写真を展示した。

イ. 開催期間 3月31日（土）～4月8日（日）

- ② 「春のてまり展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 4月1日（日）～4月15日（日）

- ③ 「西野誠一切り絵展 大津絵」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 大津絵の切り絵作品を展示した。

イ. 開催期間 5月12日（土）～5月27日（日）

- ④ 「陶芸展 民藝に想いを寄せながら」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 立杭焼きの陶芸作品を展示した。

イ. 開催期間 10月6日（土）～10月21日（日）

- ⑤ 「能・狂言面展」 場所：日向椎葉の民家

ア. 開催概要 「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ.開催期間 10月13日(土)～10月21日(日)

⑥ 「游心会展」 場所：日向椎葉の民家・摂津能勢の民家・大和十津川の民家

ア.開催概要 「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ.開催期間 10月27日(土)～11月4日(日)

⑦ 「みんなのボランティア展示会」 場所：日向椎葉の民家

ア.開催概要 当博物館のボランティア活動をしていただける方々の作品を展示した。

イ.開催期間 3月2日(土)～3月24日(日)

⑧ 「雛飾りいろいろ」 場所：堂島の米蔵

ア.開催概要 竹田笙子氏収集のひな人形を展示した。

イ.開催期間 3月2日(土)～3月24日(日)

(3) 企画展示

① 「とほろのかいこ日記」 場所：堂島の米蔵

ア.開催概要 白川の民家内で夏季に行っている養蚕の記録を展示した。

今年度は暑さのため、かろうじて1個だけ繭が出来た経過を展示。

イ.開催期間 11月10日(土)～12月2日(日)

(4) 民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年(毎週火曜日午後)

ウ.場 所 飛驒白川の民家二階、北河内の茶室

2. 解説体験事業

(1) 民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年(開館日毎日)

(2) 解説講座「むかしのおうちを巡ろう」

館内の重要文化財指定民家を中心に、解説見学会を行った。

第一回 開催日：6月3日(日)

第二回 開催日：6月10日(日)

(3) 夏休み親子企画

①白川郷の2階をのぞいてみよう

ア.期 間 8月4日(土)、8月5日(日)、8月11日(土)、12日(日)、

8月18日(土)、8月19日(日)、8月25日(土)、8月26日(日)

イ.場 所 飛驒白川の民家

②紙すき体験 参加者20名

ア.期 間 8月18日(土)

イ.場 所 セミナーハウス
ウ.協 力 紙すき工房どんぶり

3. 体験学習・学校教育連携事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 遠足等校外学習の受け入れ

98校 7,342名

(2) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月25日(水)～ 5月13日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月2日(火)～ 5月6日(日)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	7月1日(土) ～7月7日(土)	大和十津川の民家縁側	
お盆飾り	8月11日(土・祝)～ 8月15日(水)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月4日(金)～ 1月14日(月・祝)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月6日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 93食
桃の節句・雛飾り	2月16日(土)～ 3月17日(日)	日向椎葉の民家	

(3) 囲炉裏体験

ア.内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年(開館日毎日)

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、
信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(4) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこほり体験	4月8日(日)	大和十津川横の 竹林	博物館スタッフ 60名
篠竹で笛を作ろう	4月29日(日)	日向椎葉の 民家前広場	ボランティア 17名

竹ぼっくりを 作って遊ぼう	4月30日(月・祝)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 19名
親子芋ほり体験	10月14日(日)	飛騨白川裏の畑	ボランティア 30名
はたおり体験	10月19日(金)・20日(土)・ 21(日)	南部の曲家	SAORI 豊崎長屋 110名
みんかの餅つき	2月3日(日)	日向椎葉の 民家前	ボランティア 81名
コマ遊び	4月7日～6月30日・9月1日 ～12月1日・2月16日～3月30 日の各土曜日 32回実施	日向椎葉の 民家前広場	ボランティア 1,056名
石臼体験	4月1日～6月17日・9月2日～ 12月2日・2月3日～3月17日の 第1・第3日曜日 18回実施	石臼コーナー	ボランティア 144名
ゆかた・きものでみんか	7月10日・11月1日・11月2日・ 3月19日・3月26日の5回実施	越前敦賀の民家	博物館スタッフ 10名

(5) 伝統文化体験

① 和の装い体験

ア. 内 容 「森崎きもの教室」による着物の着付け体験。

イ. 実施日 4月7日(土)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

(6) 小学校の体験学習

ア. 内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ. 実施日 平成31年17日(木) 他

ウ. 受 入 大阪市立南小学校他 計9校 621名

(7) 中学生の職場体験学習

ア. 内 容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ. 期 間 平成30年11月13日(火)～15日(木)

ウ. 受入人数 2名

4. 資料収集・提供事業

(1) 資料収集・研究

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

(2) 展示民家を提供・活用

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

① みんなで太鼓

ア.内 容 「和太鼓サークル鼓遊」による和太鼓の祭囃し等の演奏会。

イ.実施日 4月7日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家前庭

② 金管五重奏コンサート

ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ.実施日 4月29日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

③ 絵巻物語とマジック

ア.内 容 「SA 豊中・観覧車」による絵巻物語とマジック。

イ.実施日 5月27日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④ お茶会

ア.内 容 茶室を公開し、茶会を開催。博物館ボランティアとの連携。

イ.実施日 4月7日、21日、5月5日、19日、6月2日、16日、
7月21日、9月1日、15日、10月6日、20日、
11月3日、17日、12月1日、15日、1月19日、
2月16日、3月16日 計18回

ウ.場 所 北河内の茶室

⑤ 民家でひなまつり

ア.内 容 ひなまつりにちなんで、期間中各日とも先着50名の来館者に、小さなお菓子を
プレゼントした。博物館ボランティアとの連携。

イ.実施日 平成31年3月2日(土)～3日(日)

5. 人材育成事業

(1) ボランティア活動の促進

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、71名が活動した。(新規登録者2名)

(2) 大学博物館実習

大学の博物館実習生を受け入れ、学習の場を提供した。

追手門学院大学、関西学院大学、関西大学 受け入れ5名

6. 普及・広報事業

(1) 特別行事

①宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～

ア.内 容 中秋の名月にちなんで、夜間開館し、岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏を実施した。

イ.実施日 9月23日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

②民家集落わくわくワークまつり

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRするため、ワークショップ、民家のふるさと物産展、模擬店、コンサート等を実施した。博物館ボランティア連携。
(当日参加者数 1,106名)

イ.実施日 10月20日(土)

(2) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内(9月～3月)	7月	12,000部
春・夏の催し案内(4月～9月)	2月	13,000部

(3) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(4) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗(上・下巻)」を頒布した。(民家の案内150冊、民俗12冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

7. 保存修理・施設整備事業

(1) 大阪北部地震による被害復旧工事

ア.内 容 平成30年6月に起きた大阪北部地震により剥落、亀裂を生じた土壁等の補修工事を行った。摂津能勢の民家(重文)・大和十津川の民家・南部の曲家・越前敦賀の民家・

小豆島の農村歌舞伎舞台摂津能勢の民家・大和十津川の民家について実施し、大和十津川の民家は、併せて耐震補強工事を行った。国および大阪府から補助金を得た。

イ. 期 間 国 補 助 金 関 連 平成 30 年 11 月 16 日～平成 31 年 3 月 29 日
大阪府補助金関連 平成 30 年 11 月 28 日～平成 31 年 3 月 29 日

(2) 事務所棟移築工事

ア. 内 容 平成 30 年 6 月に起きた大阪北部地震により、被害を受けた河内布施の長屋門事務所に替わる事務所棟として、福島県いわき市から東日本大震災の応急仮設住宅を移築し、利用する工事を行った。

イ. 期 間 平成 30 年 11 月 26 日～平成 31 年 3 月 29 日

(3) 竹林キーパーの活動

ア. 内 容 館内の竹林の伐採・整備活動を専門に行うボランティアを新たに受け入れた。

イ. 活 動 日 4 月の毎月第 1・第 3 水曜 計 17 回

8. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成 30 年度)

月	入 館 者 数 (人)	入 館 料 収 入 (円) 税込	開館日 (日)
4 月	4, 0 5 7	1, 4 8 2, 1 0 0	2 6
5 月	4, 6 5 9	1, 2 0 2, 1 5 0	2 6
6 月	2, 0 4 4	5 9 7, 1 0 0	2 5
7 月	1, 2 3 0	3 4 0, 1 5 0	2 6
8 月	1, 2 0 4	2 9 3, 7 0 0	2 7
9 月	1, 6 8 1	4 7 0, 8 0 0	2 3
1 0 月	5, 6 7 7	1;2 8 0, 2 5 0	2 6
1 1 月	3, 2 6 0	9 9 2, 7 0 0	2 6
1 2 月	1, 6 1 5	4 4 5, 6 5 0	2 1
1 月	2, 1 9 5	4 8 6, 6 0 0	2 3
2 月	2, 9 7 8	5 9 8, 6 5 0	2 4
3 月	2, 8 2 7	7 6 8, 3 0 0	2 7
合 計	3 3, 4 2 7	8, 9 5 8, 1 5 0	3 0 0

<年度比較>

	入 館 者 数	入 館 料 収 入	開館日数
平成 2 9 年度	3 7, 3 5 1 人	1 0, 8 9 0, 3 5 0 円	3 0 5 日
平成 2 8 年度	3 5, 8 1 6 人	9, 8 8 8, 8 5 0 円	3 0 5 日
平成 2 7 年度	3 8, 6 8 4 人	1 1, 0 9 8, 8 5 0 円	3 0 8 日